令和８年度

学習の手引き

鹿児島県立 開陽高等学校 通信制課程

〒８９１－０１９８　鹿児島市西谷山一丁目２－１

ＴＥＬ０９９（２６３）３７２３（通信制 直通）

０９９（２６３）３７３３（代表）

ＦＡＸ０９９（２６０）８２３３

http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/kaiyo/tsushin/

ブログ　http://kaiyo-tsushin.edu.pref.kagoshima.jp/

ブログ二次元コード

「夢・実現」に向けて

－開陽高校で学ぶために－

鹿児島県立開陽高等学校長

開陽高校の校訓は，『夢・実現』

生徒に　気宇壮大で　大志を抱き　大地に踏ん張って　颯爽と立つ人間として潔白で　純乎たる生き方をして欲しい　という願いを込めて　この校訓を定める。

本校は，平成 12 年４月，単位制による定時制課程と通信制課程を設置する高校として，下伊敷に開校しました。その後，平成 15 年４月，全日制課程を加え，ここ谷山の新校舎でスタートを切りました。

校舎のコンセプトは「光と風と森のある学校」。木材を多用した温もりある講義教室や自習室を備えた円形図書館の他，車イスユーザーの方々等に配慮したバリアフリー施設，エレベーターの設置など，校訓『夢・実現』がスタートできる，そして実現できるための環境となっています。また，令和７年４月には，同じ敷地内に県内初の夜間中学「県立いろは中学校」も開校し，多様な生徒の皆さんが共に学びを深めています。この恵まれた学習環境を思う存分活用して，自分の持つ能力や適性，特技などを伸ばすことを期待しています。

通信制課程の学習は，レポート，面接指導（スクーリング），試験の３つが柱になります。
普段は，自宅で教科書や学習書等をもとにレポートを作成します。そして，学習の理解を補完するためのスクーリングに決められた回数だけ出席することが必要です。スクーリングは，本校では日曜日と月曜日，県下１４の地区協力校では日曜日に実施されます。自分に合ったペースで学習し，卒業資格を取得することができますが，レポートを提出しなかったり，期日に遅れたり，また，スクーリングを休んでしまうと試験を受けることができなくなってしまいます。

また，通信制課程には，細かな校則や制服はありませんが，行動の指針として

①人に迷惑をかけない　②自主的に行動する　③思いやりの心をもつ

の３つを掲げています。「学校は小さな社会」ですから，社会で許されないことは学校でも許されません。

開陽高校生には，自分の夢や目標に向かって「常に前向きに前進していく自由」があります。ただし，自由には「責任」と「義務」が伴うことを忘れないでください。開陽高校生には，一つ一つの振る舞いに責任ある行動を取ることが求められます。

『夢・実現』の秘訣は，前向きな挑戦です。

開陽高校で学ぶためには，自己を管理する能力が必要です。自己管理を続けるには，目標や目的意識を持つことが必須と言われています。目標や目的意識を見付けるためにも，自分には無理かなと思うことにも，果敢に挑戦してください。最初はできなくても，何度か挑戦するうちに，必ずできるようになるはずです。

そして，「友だち」を作ってください。そばにいて心強いのが「友だち」の存在です。本校には，学年や学級という概念がありません。特に，通信制では，生徒同士のつながりが希薄になるおそれがあります。しかし，他の課程と同じように，学校行事や生徒会活動，部活動があります。それらに積極的に参加をすることで，互いの距離が近づき，元気をもらえます。

本書は，皆さんが学校生活を送るために必要かつ十分な内容が簡潔に盛り込まれています。必要に応じて手に取り，皆さんの『夢・実現』の一助となるよう活用してください。

夢・実現

校訓と教育目標

1　校　　訓

『夢・実 現』

生徒に，気宇壮大で大志を抱き大地に踏ん張って颯爽と立つ人間として潔白で純乎たる生き方をしてほしいという願いを込めて，校訓を『夢・実現』と定める。

2　教育目標

日本国憲法及び教育基本法の精神に基づき，「生きる力」である確かな学力，豊かな人間性，たくましく生きるための健康と体力をはぐくみ，国家及び地域社会の進展に貢献できる人材を育成する。

(1)　校訓「夢・実現」の具現化を図るためキャリア教育の推進に努め，社会に貢献できる人材を育成し，開陽高校の伝統を創っていくための自覚と誇りを持たせる。

(2)　学校・家庭・地域社会が連携しての教育活動を展開することにより，社会人として生きるための基本的生活習慣を身につけさせる。

(3)　生徒一人一人の能力や個性・適性に応じた「心に届く教育」を実践し，個々の進路目標の実現を図る。

(4)　人間としてのあり方や生き方に関する教育を重視し，様々な個性を持つ集団相互の出会いを通して，豊かな人間性と社会性の醸成を図る。

校　　章

校章の由来

太陽と広がる宇宙を図案化し，多様な世界へ羽ばたく開陽高等学校と生徒の可能性を示しています。

また，３本のリングは本校の３課程及び過去・現在・未来の時の流れに生徒の飛躍・発展性を示しています。

原案作成者：本　田　　誠　氏

校　　名

校名の由来

校名を決めるに当たっては，中学生以上の県民の方から校名を公募しました。

その結果，１,６００件以上の応募の中から本校に最もふさわしい名称として「開陽」という名称が選ばれました。

「開陽」という名称は，本県の温かい県民性と太陽の輝く明るい風土を象徴するとともに，新しい時代を開く若者を育成する本校の教育目標や地域に開かれた明るい校風を表しています。

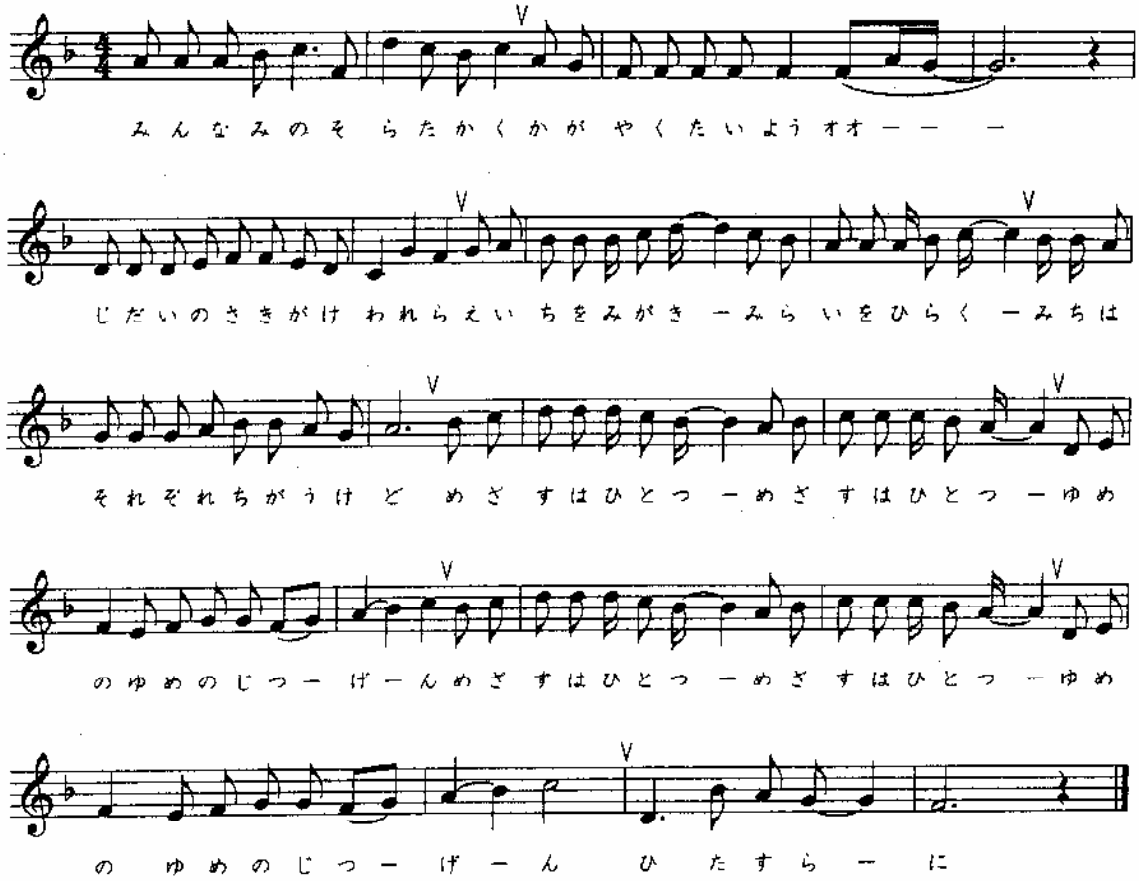
命名者：三　原　博　文　氏

校　　歌

鹿児島県立開陽高等学校校歌

「輝　き」

作詞　杉村　幸雄
作曲　長瀬　義人



輝き

南の空高く輝く太陽
時代のさきがけわれら
英知をみがき未来を開く
道はそれぞれ違うけど
目ざすは一つ夢の実現
ひたすらに

〈目　　次〉

§１　高等学校通信教育のあらまし ……………………………………………… １
（高等学校の３課程，高等学校で学習する事柄，通信制課程における学習，単位制，入学から卒業までの流れ）

§２　本校の教育課程等 ……………………………………………… ３
（学科，修業年限，教育課程，特別活動，単位認定，卒業，教育課程表，
高等学校卒業程度認定試験（高卒認定試験）の本校対応科目一覧表，技能審査の対応科目一覧表）

§３　受講登録 ……………………………………………… ９
（受講登録，受講登録の注意，受講登録の手続き・日程，受講料の納入，
教科書・学習書等の申し込みと購入方法，諸会費の納入方法，各教科の説明）

§４　令和８年度　行事計画 ……………………………………………… １７

§５　教科・科目の学習 ……………………………………………… ２１
１　令和８年度　学習年間スケジュール表 ……………………………… ２１
２　レポート ……………………………………………… ２５
３　スクーリング（面接指導）……………………………………… ２８
４　試験 ……………………………………………… ３１

§６　特別活動 ……………………………………………… ３３
（卒業の要件，ホームルーム，生徒会活動，学校行事）

§７　学校と生徒との関係 ……………………………………………… ３５
（受講登録をしない場合の措置，身分上の手続き，一般的手続き，賞罰，諸届・願，学籍・ＨＲ番号等）

§８　学校との連絡 ……………………………………………… ３７
（生徒から学校への連絡，学校から生徒への連絡）

§９　通信制課程で学ぶ生徒への教育費助成等 ……………………………… ４０
（教科書・学習書，奨学資金の貸与・給与，勤労学生の所得額控除，郵便料の軽減，旅客運賃の割引）

§10　生活の心得 ……………………………………………… ４２
（学校生活，服装，所持品，授業及び学校行事，喫煙，通学・交通マナー等）

§11　生徒会 ……………………………………………… ４３
（生徒会機構，生徒会会則）

§12　ＨＰの活用と緊急情報・自然災害(台風・大雪・洪水)等の連絡方法 ………… ４６

スクーリング参加・学習活動等の記録 ……………………………………… ４９
（スクーリング・学校行事等への参加の記録，時間割計画表）

事務関係の手続き（各種届・願・証明書等の交付）

交通アクセス
（利用交通機関，学校近辺地図）

駐車場

校舎配置図

§１　高等学校通信教育のあらまし

１ 高等学校の３課程

高等学校には，次の三つの課程があります。みなさんは，(3)の「通信制課程」で学ぶことになります。

(1)　全日制課程　祝祭日や長期休業を除いて週５～６日登校し，１日中（午前・午後とも）授業を受けて学習する課程

(2)　定時制課程　祝祭日や長期休暇を除いて週５～６日登校し，昼間部・昼夜間部・夜間部など限られた時間で授業を受けて学習する課程

(3)　通信制課程　月２～３回程度のスクーリング（面接指導）に出席することが必要。自宅における自学自習によりレポートを提出し，添削指導を受けるなど通信教育によって学習する課程

２ 高等学校で学習する事柄（教育課程）

学校の教育計画の全体を，「教育課程」といい，次の(1)・(2)を履修します。

(1)　教科・科目

「教科」は，「国語」「数学」「芸術」などを指し，

「科目」は，「現代の国語・前」「倫理」「音楽Ⅰ①」などを指します。

(2)　特別活動

「ホームルーム活動」「生徒会活動」「学校行事」の総称です。

３ 通信制課程における学習

通信制課程における学習は，**レポート・スクーリング（面接指導）・試験**の三つが柱であり，それに**特別活動**が加わります。

(1)　レポート

通信教育で中心となる学習活動です。

自宅で，教科書・学習書をもとに各科目のレポートを学習し，学校に郵送すると，添削指導されて返送されてきます。それをもとに復習し，わからないところはスクーリングのときなどに質問します。

(2)　スクーリング（面接指導）

スクーリング計画にしたがって登校して，実際にスクーリングを受けたり，生徒会活動に参加したりします。自宅学習でわからなかった点を科目担任の先生に質問したり，クラス担任や友達と交流を深めたりして，積極的に活動することが大切です。

(3)　試験

受講している科目の試験を受けて，学習が定着しているか評価を受けます。各科目において，所定の点数が取れなかったら追試験を受けなければなりません。

(4)　特別活動

ホームルーム活動・生徒会活動は，スクーリング日に本校又は協力校に登校した際に出席・参加します。学校行事（入学式・芸術鑑賞会・ふれあいレクリエーション・弁論大会・文化祭など）には，積極的に参加しましょう。

４　単位制とは

本校は，「単位制」の高等学校です。「単位制」の学校が他の「学年制」の学校と異なるのは，主に次のような点です。

ア　学年はないが，修得単位数により

　　０～１５単位　Ａグループ　　１６～４４単位　Ｂグループ　　４５単位以上　Ｃグループ

　としている。

イ　学習計画（受講登録）は自主的に作成できる。

ウ　必要な単位を修得すれば，卒業の資格が得られる。

エ　大検・高認合格科目，技能審査，定通併修で修得した単位等を卒業単位に加えることができる。

オ　前籍校で修得した単位はそのまま認定されるが，一部認定されないものもある。

５ 入学から卒業までの学習の流れ

【協力校】地区スクーリングは，各地区協力校で実施します。

地　区	指　宿	川　辺	川　内	出　水	大　口	志布志	鹿　屋	種子島	屋久島	大　島	喜　界	徳之島	沖永良部	与　論
協力校	頴娃高校	川辺高校	川内高校	出水工業高校	大口高校	志布志高校	鹿屋高校	種子島高校	屋久島高校	大島高校	喜界高校	徳之島高校	沖永良部高校	与論高校

§２　本校の教育課程等

１　学　　科

普　通　科

衛生看護科（看護学校と技能連携）

※衛生看護科の生徒は，本校と技能連携校に在籍する必要があります。

普通科目は本校で，専門科目は看護学校で学びます。

２ 修業年限

３年以上

３ 教育課程

本校の教育課程は，Ｐ５～６に示してあります。

各教科には，「必履修科目」と「選択科目」があります。卒業するためには，「必履修科目」をすべて履　修したうえで，合計７４単位以上修得しなければなりません。

本校は２期制をとっています。前期は４月１日から９月３０日まで，後期は１０月１日から翌年３月３１日までとなっています。すべての科目は前期，後期ごとに履修・修得できる仕組みとなっています。それにより，前期での卒業が可能となっています。

４ 特別活動（詳細は§６参照）

ホームルーム活動・生徒会活動・学校行事があります。

特別活動は，卒業までに３０時間以上出席することが卒業の条件です。

５ 単位認定

「単位」とは，学習の分量を示すもので，通信制においてはそれぞれの科目に１期ごとのレポート提出回数及びスクーリング出席時数が設定してあり，それらを充足し，試験に合格することで単位が認められます。

（１）　教科・科目の単位認定

ア　レポートがすべて合格と認められていること。
イ　所定の面接時数を満たしていること。
ウ　ア・イを満たし，試験を受けて，合格と認められていること。

（２）　併修科目の単位認定（Ｐ９参照）

併修によって履修・修得できる単位数は１年間に**３科目以内，１０単位以内**とします。

（３）　高等学校卒業程度認定試験等の単位認定

「高卒認定試験」及び「大学入学資格検定試験」の合格科目は，合格年度を問わず，Ｐ７の対応表に従って，対応する科目の単位として卒業時に一括して認定します。また，既修得の科目は科目合格

しても単位認定はできません。単位の認定を希望する生徒は，「合格成績証明書」を添えて，前期は８月末日必着，後期は１月末日必着で申し出てください。なお，合格科目は受講登録の際，参考にしますので，卒業年度に関わらず担任に連絡してください。

（４） 技能審査の成果の単位認定

本校入学後にＰ８に記した技能審査に合格した場合は，対応科目の増加単位として認定します。単位の認定を希望する場合は，「合格証明書」を添えて，前期は８月末日必着，後期は１月末日必着で申し出てください。ただし，増加単位として認定する科目を修得している必要があります。

（５） 海外留学に係わる単位認定（詳細は本校に直接問い合わせてください。）

留学によって認められる単位は３６単位を上限とします。全て選択科目の修得単位として取り扱います。

（６） 認定単位の上限

① １年間 に認定できる単位数の上限は併修を含め２９単位までです。ただし，「技能審査」等による増加単位を加えた場合には，３３単位まで認定することができます。

② 卒業時 に限り，１年間に認定できる単位数の上限は本課程の分に，「併修」・「高認（大検）」・「技能審査」等による認定単位の分も合わせて３６単位までです。

６ 卒　業

本校通信制課程の**卒業条件**は，次のとおりです。

ア ３年以上在籍すること。（転編入生については，前籍校での履修・修得の期間を含む。）
イ 必履修科目が，すべて履修認定されていること。
ウ 修得単位数が，通算７４単位以上であること。
エ 特別活動に，３０時間以上出席していること。
オ 転編入生については，本課程で最低３科目以上履修すること。

《用語の説明》

必履修科目 ： 高等学校で必ず履修しなければならないと定められている科目
選択科目 ： 生徒個人の希望により選択して履修する科目
履　修 ： 科目の目標に到達することを目的として，レポートを提出し，スクーリング（面接指導）に参加し，学習したこと。なお，卒業単位７４単位には含まれない。
修　得 ： 科目を履修することにより，教科・科目の目標に照らして満足すべき成果を上げたと認められ，単位を認定されること。（レポートを提出し，スクーリング（面接指導）に出席し，試験に合格すること）
併　修 ： 本校の全日制課程・定時制課程の開設科目を履修すること。

令和８年度　開 設 科 目

【普　通　科】

	教科	前期 科目	前期 単位数	後期 科目	後期 単位数	教科受講上の留意点 ※①②のある科目は①②で１科目（全ての科目に共通）
普通教育に関する各教科・科目	国語	現代の国語・前	2	現代の国語・後	2	＊「現代の国語」及び「言語文化」必履修 (※)「言語文化・前」は前期での卒業が可能で「現代の国語」を２単位履修済みの者のみ受講可 (※)「現代の国語・後」は後期転編入生で「言語文化」を2単位履修済みの者のみ受講可 ＊「現代の国語」「言語文化」履修後はどの科目も受講可
		言語文化・前	2	言語文化・後	2	
		論理国語①	2	論理国語②	2	
		文学国語①	2	文学国語②	2	
		国語表現①	2	国語表現②	2	
	地歴	地理総合・前	2	地理総合・後	2	＊「地理総合」及び「歴史総合」必履修 ＊「地理総合」履修後に「地理探究」を受講可 ＊「歴史総合」履修後に「日本史探究」「世界史探究」を受講可
		歴史総合・前	2	歴史総合・後	2	
		地理探究①	2	地理探究②	2	
		日本史探究①	2	日本史探究②	2	
		世界史探究①	2	世界史探究②	2	
	公民	公　　共・前	2	公　　共・後	2	＊「公共」必履修 ＊「公共」履修後に「倫理」「政治・経済」を受講可
		倫理	2	政治・経済	2	
	数学	数学Ⅰ①	2	数学Ⅰ②	2	＊「数学Ⅰ①②」必履修 ＊「数学Ⅱ」は「数学Ⅰ」を履修後，受講可 ＊「数学Ａ」は「数学Ⅰ」または「数学Ⅱ」と併行して受講可 ＊「数学入門」は新入生のみ選択可
		数学Ⅰ②前	2	数学Ⅰ①後	2	
		数学Ⅱ①	2	数学Ⅱ②	2	
		数学Ａ・前	2	数学Ａ・後	2	
		数学入門①	2	数学入門②	2	
	理科	科学と人間生活①	1	科学と人間生活②	1	＊「科学と人間生活」は年度内の卒業が可能な生徒で，理科の必履修科目「○○基礎」が１科目以下の者のみ受講可 ＊「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」のうち３科目選択必履修 ＊基礎のついていない科目はそれぞれの基礎科目を履修後受講可
		物理基礎①	1	物理基礎②	1	
		物理基礎②前	1			
		化学基礎①	1	化学基礎②	1	
		化学基礎②前	1			
		生物基礎①	1	生物基礎②	1	
		生物基礎②前	1			
		地学基礎・前	2	地学基礎・後	2	
		物理①	2	物理②	2	
		化学①	2	化学②	2	
		生物①	2	生物②	2	
		地学①	2	地学②	2	
	保体	体育Ａ前	2	体育Ａ後	2	＊「体育ＡＢＣＤＥ」の中から７単位と「保健①②」必履修
		体育Ｂ前	2	体育Ｂ後	2	
		体育Ｃ前	2	体育Ｃ後	2	
		体育Ｄ前	1	体育Ｄ後	1	
		体育Ｅ前	1	体育Ｅ後	1	
		保健①	1	保健②	1	
		保健②前	1	保健①後	1	
	芸術	音楽Ⅰ①	1	音楽Ⅰ②	1	＊「音楽Ⅰ・美術Ⅰ・書道Ⅰ」（各①②）の中から１科目選択必履修 ＊Ⅱは同科目のⅠを履修後，Ⅲは同科目のⅡを履修後受講可
		音楽Ⅰ②前	1	音楽Ⅰ①後	1	
		音楽Ⅱ①	1	音楽Ⅱ②	1	
		音楽Ⅲ①	1	音楽Ⅲ②	1	
		美術Ⅰ①	1	美術Ⅰ②	1	
		美術Ⅰ②前	1	美術Ⅰ①後	1	
		美術Ⅱ①	1	美術Ⅱ②	1	
		美術Ⅲ①	1	美術Ⅲ②	1	
		書道Ⅰ①	1	書道Ⅰ②	1	
		書道Ⅰ②前	1	書道Ⅰ①後	1	
		書道Ⅱ①	1	書道Ⅱ②	1	
		書道Ⅲ①	1	書道Ⅲ②	1	
	外国語	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ①	2	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ②	2	＊「英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ①②」必履修 ＊「英語入門」は新入生のみ選択可
		英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ②前	2	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ①後	2	
		英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ①	2	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ②	2	
		英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ①	2	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ②	2	
		英語入門①	1	英語入門②	1	
	家庭	家庭総合①	2	家庭総合②	2	＊「家庭総合①②」必履修
		家庭総合②前	2			
	情報	情　報　Ⅰ・前	2	情　報　Ⅰ・後	2	＊「情報Ⅰ」必履修
教科設置と専門科目	家庭	消費生活・安全	1	消費生活・契約	1	＊これらの科目は「家庭総合」を履修後，受講可
		保育基礎	2	フードデザイン	2	
	商業	ビジネス基礎・前	2	ビジネス基礎・後	2	
		ビジネス法規①	2	ビジネス法規②	2	
総合的な探究の時間		総合Ａ・前	1	総合Ａ・後	1	＊総合３単位必履修 ＊１年間に２単位まで受講可
		総合Ｂ・前	1	総合Ｂ・後	1	
		総合Ｃ・前	1	総合Ｃ・後	1	

【衛生看護科】

	教科	前期 科目	前期 単位数	後期 科目	後期 単位数	教科受講上の留意点 ※①②のある科目は①②で１科目（全ての科目に共通）
普通教育に関する各教科・科目	国語	現代の国語・前	2	現代の国語・後(※)	2	*「現代の国語」及び「言語文化」必履修 (※)条件を満たす者のみ受講可
		言語文化・前(※)	2	言語文化・後	2	
	地歴	地理総合・前	2	地理総合・後	2	*「地理総合」及び「歴史総合」必履修
		歴史総合・前	2	歴史総合・後	2	
	公民	公　共・前	2	公　共・後	2	*「公共」必履修
	数学	数学Ⅰ①	2	数学Ⅰ②	2	*「数学Ⅰ①②」必履修 *「数学Ⅱ」は「数学Ⅰ」を履修後，受講可 *「数学Ａ」は「数学Ⅰ」または「数学Ⅱ」と併行して受講可
		数学Ⅰ②前	2	数学Ⅰ①後	2	
		数学Ⅱ①	2	数学Ⅱ②	2	
		数学Ａ・前	2	数学Ａ・後	2	
	理科	科学と人間生活①	1	科学と人間生活②	1	*「科学と人間生活」と「○○基礎」の科目の中から１科目または「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」のうち３科目選択必履修
		物理基礎①	1	物理基礎②	1	
		物理基礎②前	1			
		化学基礎①	1	化学基礎②	1	
		化学基礎②前	1			
		生物基礎①	1	生物基礎②	1	
		生物基礎②前	1			
		地学基礎・前	2	地学基礎・後	2	
	保体	体育Ａ前	2	体育Ａ後	2	*「体育ＡＢＣＤＥ」の中から７単位と「保健①②」必履修
		体育Ｂ前	2	体育Ｂ後	2	
		体育Ｃ前	2	体育Ｃ後	2	
		体育Ｄ前	1	体育Ｄ後	1	
		体育Ｅ前	1	体育Ｅ後	1	
		保健①	1	保健②	1	
		保健②前	1	保健①後	1	
	芸術	音楽Ⅰ①	1	音楽Ⅰ②	1	*「音楽Ⅰ・美術Ⅰ・書道Ⅰ」（各①②）の中から１科目選択必履修
		音楽Ⅰ②前	1	音楽Ⅰ①後	1	
		美術Ⅰ①	1	美術Ⅰ②	1	
		美術Ⅰ②前	1	美術Ⅰ①後	1	
		書道Ⅰ①	1	書道Ⅰ②	1	
		書道Ⅰ②前	1	書道Ⅰ①後	1	
	外国語	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ①	2	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ②	2	*「英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ①②」必履修
		英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ②前	2	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ①後	2	
		英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ①	2	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ②	2	
		英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ①	2	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ②	2	
	家庭			家庭基礎	2	*「家庭基礎」必履修
	情報	情　報　Ⅰ・前	2	情　報　Ⅰ・後	2	*「情報Ⅰ」必履修
教科と専門科目に関する科目	看護	基　礎　看　護			5	*看護の科目はすべて必履修で，技能連携校で履修・修得する
		人体の構造と機能			3	
		疾病の成り立ちと回復の促進			2	
		健康支援と社会保障制度			2	
		成　人　看　護			2	
		老　年　看　護			2	
		小　児　看　護			1	
		母　性　看　護			1	
		精　神　看　護			2	
		看護臨地実習			１７	
総合的な探究の時間		総合Ａ・前	1	総合Ａ・後	1	*総合３単位必履修 *１年間に２単位まで受講可
		総合Ｂ・前	1	総合Ｂ・後	1	
		総合Ｃ・前	1	総合Ｃ・後	1	

＊高等学校卒業程度認定試験（高卒認定試験）の本校対応科目一覧表

高卒認定試験合格科目による本校の対応科目の単位認定は卒業時に次の要領で行います。
（１）合格科目を本校の教育課程の対応する科目を修得したものとして単位認定します。
（２）卒業時に加算できる単位数は，併修・技能審査等と併せて３６単位までです。
（３）本校または前籍校で修得している科目は，高卒認定試験に合格しても単位認定しません。
（４）本校で部分単位を修得している場合は，残りの単位分のみ認定します。
（５）理科については平成２６年度から試験科目が変更されました。それに伴い理科の認定については次の要領で行います。
① 本校または前籍校で「物理I」を修得している人が，高卒認定試験「物理基礎」に合格しても単位位認定はしません。化学基礎・化学I，生物基礎・生物I，地学基礎・地学Iについても同じです。
② 本校または前籍校で「物理基礎」を修得している人が，平成２５年度までの高卒認定試験「物理I」に合格していても単位認定はしません。化学基礎・化学I，生物基礎・生物I，地学基礎・地学Iについても同じです。
（６）地理歴史，公民については令和６年度から試験科目が変更されました。それに伴い地理歴史，公民の認定については次の要領で行います。
① 本校または前籍校で「現代社会」を修得している人が，高卒認定試験「公共」に合格しても単位認定はしません。
② 本校または前籍校で「公共」を修得している人が，令和５年度までの高卒認定試験「現代社会」に合格していても単位認定はしません。また，本校または前籍校で「倫理」・「政治・経済」を修得している人が，令和５年度までの高卒認定試験「倫理」・「政治経済」に合格していても単位認定しません。
③ 令和５年度までの高卒認定試験「世界史Ａ」・「世界史Ｂ」・「日本史Ａ」・「日本史Ｂ」・「地理Ａ」・「地理Ｂ」に合格している人については，前記（３）（４）にしたがって認定します。
※ 不明な点は直接担任または教務係に問い合わせてください。

合格科目	本校の科目	単位数
国　語	現代の国語	2
	言語文化	2
地　理	地理総合	2
歴　史	歴史総合	2
公　共	公　共	2
数　学	数学Ⅰ	3

合格科目	本校の科目	単位数
科学と人間生活	科学と人間生活	2
物理基礎	物理基礎	2
化学基礎	化学基礎	2
生物基礎	生物基礎	2
地学基礎	地学基礎	2
英　語	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ	3

※ 以前の「高卒認定試験」「大学入学資格検定試験」で合格した科目は本校（教務係）に直接問い合わせてください。
※ 平成１６年度までの「大学入学資格検定試験」の合格科目を「高卒認定試験」の科目として免除することができます。詳しくは下記の認定試験第二係に問い合わせてください。

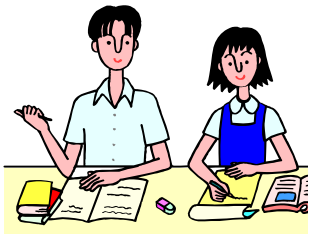
高卒認定試験を受験するには，まず受験案内を入手する必要があります。受験案内の配布時期と入手方法は次の通りです。

●「受験案内」の配布時期
第１回試験･･･毎年４月上旬頃から　　第２回試験･･･毎年７月中旬頃から
●「受験案内」の入手方法
①パソコン及び携帯電話・スマートフォン等（Web）で請求する場合
→ **資料請求受付専用サイト** http://shingaku.telemail.jp/kounin/
電話で請求する場合
→ **IP 電話　０５０－８６０１－０１０１**
※上記のインターネット・電話を利用すれば配布前から予約が可能です。不明な点はテレメールカスタマーセンター（IP 電話０５０－８６０１－０１０２）まで　受付９時３０分～１８時
②直接受け取りに行く場合
→ **鹿児島県庁１６階高校教育課で配布（事前に電話等で配布可能日・時間を確認）**
③郵送で請求する場合
→ **返信先の住所氏名を明記した角形２号の封筒（２５０円分の返信用切手を貼付）を同封の上，下記まで請求してください。**
〒８９０－８５７７　鹿児島市鴨池新町１０番１号
県教育庁　高校教育課　高校教育係　高等学校卒業程度認定試験担当
電話　０９９－２８６－５２９１（直通）
●問い合わせ先（文部科学省ホームページをご覧になるか，以下に直接問い合わせてください。）
文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課　認定試験第二係
電話　０３－５２５３－４１１１（代表）
①認定試験に関すること　（内線）２０２４・２６４３
②証明書に関すること　（内線）２５９０・２５９１

＊技能審査の対応科目一覧表

技能審査合格による本校の対応科目の単位認定は次の要領で行います。
（１）合格科目を本校の教育課程の対応する科目を修得したものとして合格した年度に単位認定します。
　ただし，本校入学後に合格したものに限ります。
（２）増加単位として設定する科目をすでに修得している必要があり，認定できる単位数の合計は
　１０単位までです。

技能審査の種類	主催団体	水準	対応科目	単位
日本漢字能力検定	日本漢字能力検定協会	２級	国語総合 現代の国語	2
実用英語技能検定	日本英語検定協会	準１級	英語コミュニケーションI 英語コミュニケーションII	3
実用英語技能検定	日本英語検定協会	２級	英語コミュニケーションI 英語コミュニケーションII	3
実用英語技能検定	日本英語検定協会	準２級	英語コミュニケーションI 英語コミュニケーションII	2
硬筆書写技能検定	日本書写技能検定協会	２級	書　道　I 書　道　II	2
毛筆書写技能検定	日本書写技能検定協会	２級	書　道　I 書　道　II	2
栄養と調理技能検定	香川栄養学園	２級	フードデザイン	2



§３　受　講　登　録

１　受講登録とは

諸会費等を納め，自分が受講する科目を申し込み，許可を受けることを「受講登録」と言います。各教科・科目は，期間内に受講登録をしないと受講できません。

２　受講登録の注意

（１）　教科・科目

ア　単年度当たり**３科目以上の受講登録**をしなければなりません。

イ　一年間に受講登録できる**単位数の上限は，併修も含め２９単位**です。

ウ　受講順序のある科目は，それに従います（Ｐ５～６教育課程表「教科受講上の留意点」参照）。

エ　年度当初に申し込んだ科目の，年度途中での変更や追加申し込みは認めません。

オ　各科目は，１期で学習を終えることが原則です。１期で履修・修得ができなかった科目は，翌年度再受講できます。（レポート・スクーリングは初めからやり直しです。）

（２）　「併修」

全日制・定時制課程との併修を希望する場合は，２月末日までに申し込まなければなりません。ただし，科目によって，他課程で定員が充足している場合は，併修できないこともあります。

（併修の申請をするための条件）

ア　本課程に１年以上在籍している。

イ　前年度に４単位以上を修得している。

（併修できない科目）

ア　本校の通信制課程で開講している科目

イ　大検及び高認で合格した科目，又は本年度に受験を予定している科目

（併修できる科目数の上限）

併修によって履修・修得できる単位数は１年間に３科目以内，１０単位以内とする。

３　受講登録の手続き・日程

受講登録の手続きや日程は，「開陽通信」等で１～２月に連絡します。

４　受講料の納入

（１）　通信制課程の教育を受ける生徒は，受講登録の単位数に応じて，**１単位につき310円**の受講料を徴収します。

（２）　一定の条件を満たせば，受講料の全部又は一部の納入が不要となる以下の制度を利用できます。

ア　就学支援金・・・制度の改正が確定次第連絡します。

イ　学び直し支援金・・・条件を満たす生徒に申請案内をします。

ウ　授業料免除・・・条件を満たす生徒に申請案内をします。

５　教科書・学習書の申し込みと購入方法

（１）　教科書・学習書はセットになっています。受講登録日に「受講申込書」の「教科書・学習書申込欄」に〇印をして申し込みます。

（２）　**教科書・学習書の代金は，石井書店へ郵便払込・振替により送金してください。**

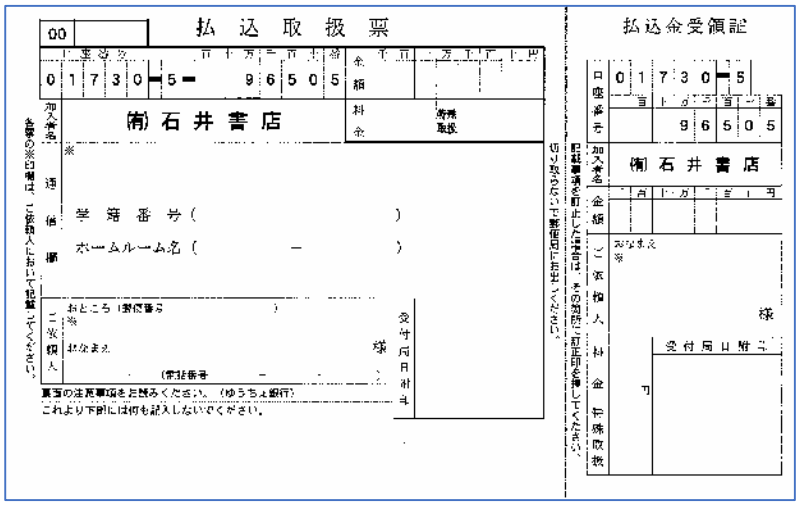
事務係で郵便払込・振替の用紙（払込取扱票）に代金額を記入して渡しますので，住所・氏名等を記入して速やかに送金してください。

払込の手数料は，５万円未満は，窓口利用の場合２０３円・ＡＴＭ利用の場合１５２円です。

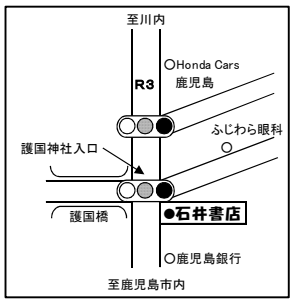
教科書・学習書等は書店から，入金確認後，宅配便にてみなさんの住所へ発送されます。

（３）　教科書・学習書等は，有職の生徒等に無償で給与する制度があります。　→　Ｐ４０参照

無償給与を希望する場合は，前もって送付される申請書類を受け取り，受講申し込みをするとき又は申請期限内に無償給与の申請をしてください。



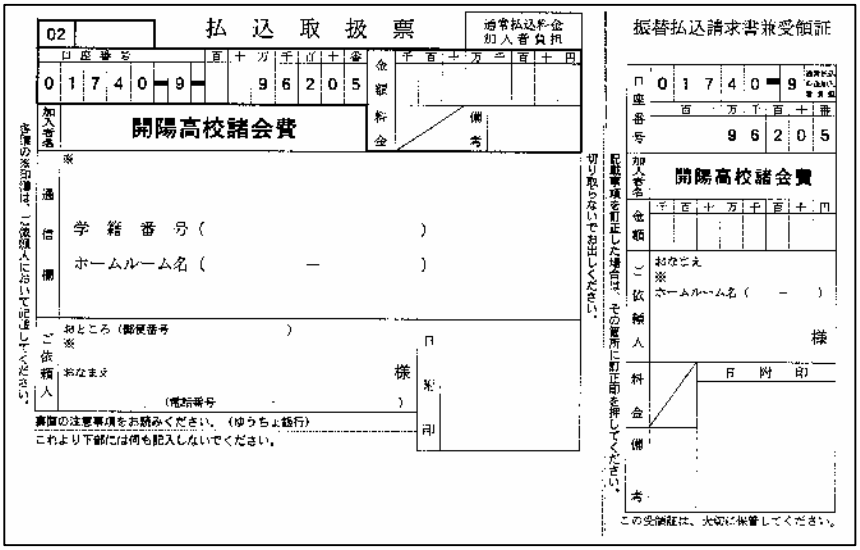
書　店
（有）石井書店
鹿児島市草牟田２－１０－９
ＴＥＬ０９９－２２２－１０２８



６　諸会費の納入方法（入学後２年目以降の生徒）

生徒は，生徒会費等の諸会費を納入しなければなりません。

諸会費は，受講登録前までに郵便振替で送金します。送金した際の受領書は，保管しておいて，受講登録日に持ってきてください。



（諸会費）

（前期入学生・在校生）

生徒会費３，１００円　通信教育振興会費３，０００円　※諸費３，４００円　　合計９，５００円

在校生は　※諸費２，４００円　　合計８，５００円

（後期入学生）※金額の見直しもあります。

生徒会費１，５５０円　通信教育振興会費１，５００円　※諸費３，４００円　　合計６，４５０円

※諸費の中には，バーコードシール代，レポート･教科書･学習書の送料等が含まれます。

７　各教科の説明　･･･　面接時数はＰ２１～２４で確認すること。

国　　語

・・・「現代の国語」及び「言語文化」必履修
「論理国語」「文学国語」「国語表現」は「現代の国語」及び「言語文化」を履修後に受講できる。

現代の国語
論理的な文章や実用的な文章を教材にして，実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けていきます。必履修科目です。

言語文化
小説，詩歌，古文，漢文等を教材にして，我が国の言語文化に対する理解を深めていきます。必履修科目です。

論理国語
評論などの文章を読み，著者の主張やその根拠・文章構成の意図を的確に読み取る力を高める学習をします。また，読解した内容を自身の立場に当てはめて考え，自らの言葉で述べる活動も含めます。教材となる文章が，主に大学入学共通テストで扱われるような，学術的・専門的な評論を中心に構成されているため，他の国語科の科目に比べて難易度の高い内容になっています。必履修科目を履修後，受講できます。

文学国語
近代以降の文学的な文章を教材にして，「思考力・判断力・表現力」等の感性・情緒の力を磨く科目です。レポートは，深く共感したり豊かに想像したりして，書いたり読んだりする内容です。国語科の選択科目の中では比較的易しい科目ですが，毎回「感想文」の設問がありますので気をつけてください。必履修科目を履修後，受講できます。

国語表現
この科目では，文章による表現（感想文・小論文・意見文・手紙等）を中心に，書くこと・話すことによる表現の仕方やメディアの利用の仕方について学習します。必履修科目を履修後，受講できます。

地理歴史

・・・「地理総合」及び「歴史総合」必履修
「地理探究」は「地理総合」を履修後に受講できる。
「世界史探究」及び「日本史探究」は「歴史総合」を履修後に受講できる。

地理総合
世界の理解に必要な地図の活用，気候や地形などの系統地理の分野から世界の諸地域の特徴や課題を学び，更に現代の世界の課題である環境問題や人口問題，わが国の大きな課題である防災に関する対策についても考えます。

歴史総合
世界史と日本史を融合し，近現代を中心に学びます。日本や世界の国々の歴史はもちろん，国と国との関係や世界情勢を学ぶことによって，時代認識を深め国際感覚を磨き，グローバル化した社会で主体的に生き抜く力を養います。

地理探究
世界や日本の地形・気候・農業・工業・都市・国際関係・環境問題・民族問題・人口問題等を項目別・地域別に学んでいきます。「地理総合」に比べて，より詳しく地図・統計などを取り上げて学習し，グローバル化に対応できる知識・思考・判断などの能力を養います。

日本史探究
原始・古代から現代までの日本の通史です。日本の近・現代の基礎と，現代日本の形成過程を理解します。「歴史総合」に比べて，より詳しく学習します。

世界史探究
世界の歴史を，原始から近現代まで全地域幅広く学習していきます。人類の文化が発展して文明が発生し，より大きな文化圏となり，近現代に近づくにつれ一体化していく過程を学ぶことで，世界的な課題となっている国際平和の実現について考える力を養います

公　　民

・・・「公共」必履修
「倫理」及び「政治・経済」は「公共」を履修後に受講できる。

公　　共

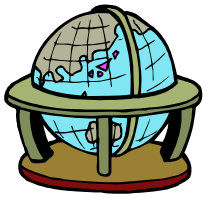
「公共」の学習は，２１世紀の社会に生きる私達を取り巻く環境をグローバルな視点から考察します。また日本や世界の政治や経済のしくみを学ぶ中で，諸問題の解決について主体的に考える力を身に付ける機会になればと考えています。

倫　　理

「倫理」は，人間としての在り方・生き方を考える科目です。世界の先哲の思想を学ぶことでさまざまな新たな発見をし，それを手がかりとして現代に生きる私たちがどう生きて行くべきかを考えます。深く考えることでいっそう面白くなる科目です。

政治・経済

「政治・経済」は，現代の政治，経済，国際関係を社会の変動や国際化の進展をふまえて学んでいく科目です。ただ単に政治制度や経済の仕組み，国際社会の仕組みを学ぶだけでなく，それを通じて刻々と変化する政治や経済の状況，国際関係を現実のものとして理解するようにします。



数　　学

・・・「数学Ⅰ」必履修

数 学 Ⅰ

数学の科目のうち数学Ⅰだけは全員が学ばなければならない必履修科目です。中学校で学んだ数学の基礎的な内容を踏まえて，数と式，方程式・不等式の解き方，２次関数，三角比，集合と論証，データの分析を学び，日常生活において数学的な見方や考え方ができるような能力を身につけることを目標にして学習します。

数 学 Ⅱ

数学Ⅰを履修（学習）した後に学ぶ科目です。数学Ⅰで学んだ内容をもとにいろいろな方程式，不等式，指数関数，対数関数，三角関数といろいろな関数の概念をもっと広く深く学習し，「微分と積分」では，微分を用いて関数のグラフをかいたり，積分を用いて図形の面積を求めたりすることを学びます。数学の得意な人，興味を持った人はこの科目を学ぶことによって数学的により広い視野で物事が考えられるようになると思います。

数 学 Ａ

数学Ａは数学Ⅰの内容を拡充し，それを補足する科目です。本校では「場合の数と確率」の基本的な意味と考え方を学び，さらに「三角形」・「円」・「空間図形」の基本的な性質を学びます。また，新しく「数学と人間の活動」で数学をより身近に感じられる基本的な内容を学習します。これらは数学全体の基礎で大切な内容です。身近な問題を数学的にとらえることで数学の面白さがわかると思い

数 学 入 門

小中学校の基礎的な内容を学ぶ科目です。整数・小数・分数の四則計算，正負の計算，文字式の計算，方程式などを解く力を身に付けることを目標にして学習します。

理　　科

・・・「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」のうち
３科目選択必履修
「物理」は「物理基礎」を履修後に受講できる。
同様に「化学」「生物」「地学」もそれぞれの「基礎」の科目を履修後受講できる。

物理基礎
・物体の運動とエネルギー
・様々な物理現象とエネルギー

化学基礎
・物質の構成
・物質の変化

生物基礎
・生物の特徴
・遺伝子とそのはたらき
・ヒトの体の調節
・生物の多様性と生態系

地学基礎
・私たちの大地
・私たちの空と海
・私たちの宇宙の誕生
・私たちの地球の歴史
・地球に生きる私たち

物　　理
・力と運動　・熱と気体　・波　・電気と磁気　・原子

化　　学
・物質の状態と平衡　・物質の変化と平衡　・無機物質　・有機化合物
・高分子化合物

生　　物
・生物の進化と系統　・生命現象と物質　・生殖と発生　・生物の環境応答
・生態と環境

地　　学
・固体地球の概念と活動　・地球の歴史　・大気と海洋　・宇宙の構造

保健体育

・・・「体育ＡＢＣＤＥ」の中から７単位と「保健」必履修

体　　育

各種運動の合理的な実践を通して，運動技能を高め，運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに，体の調子を整え，体力の向上を図り，公正・協力・責任などの態度を育て，生涯を通じて継続的に運動に親しむ態度を育みます。

- レポートでは，体育理論を中心に，各スポーツ種目の特性や歴史，ルール等を学習し，スポーツに対する理解を総合的に深めていきます。

〔体育Ａ〕スポーツの発祥と発展
〔体育Ｂ〕運動・スポーツの学び方
〔体育Ｃ〕豊かなスポーツライフの設計
〔体育Ｄ・Ｅ〕スポーツ・健康に関する情報の活用

- スクーリング（面接）では，生涯スポーツの一環として，年齢や個人の目的に応じて，健康増進，体力向上を図る機会を設けています。また互いに助け合って学習する態度を育てることを目指しています。

※　体育Ｄ，Ｅの受講生は，５時間の残り１時間は，安全面の配慮から，原則として最初の１時間（１，３，５限目）を受講する。

保　　健

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし，生涯を通じて自他の健康増進に努め，それらを支える環境づくりを目指す生活を営む態度を育みます。

- レポートは，生活設計に健康が不可欠であることを教科書の内容に沿って学習します。

〔保健①〕
・現代社会と健康
・安全な社会生活
〔保健②〕
・生涯を通じる健康
・健康を支える環境づくり

- スクーリング（面接）では，レポートの進度にあわせて内容の解説等を行います。

芸　術

・・・音楽Ⅰ・美術Ⅰ・書道Ⅰの中から１科目選択必履修

音　楽

音楽の学習は，本来，表現（歌唱・器楽・創作）と鑑賞の幅広い音楽活動を通して行います。スクーリングではレポートに沿った範囲で基礎的なことを学習します。実技は，可能な限り歌唱・器楽の演奏，創作（作曲）など何か一つは取り組めるものを決めましょう。手元に今まで使ったリコーダー，ギター，鍵盤楽器などがあれば学習に役立ててください。

音 楽 Ⅰ
基礎的な「音楽のしくみ」を理解し，世界中の様々な音楽に触れたり，表現したりします。

音 楽 Ⅱ
「音楽のしくみ」を理解し，世界中の様々な音楽の魅力を味わいながら，自己表現の領域を広げ，自発的な学習をします。

音 楽 Ⅲ
音楽に対する技能や知識を生かしながら，個性的・創造的な学習を深めます。

美　術

美術の幅広い活動を通して，表現や鑑賞活動の能力を伸ばし，美術文化への理解を深めることを目標としています。主に平面作品，美術史，鑑賞などのレポート作成が中心となります。スクーリングや共同学習の時間に鉛筆と水彩絵具等（着彩のできるもの）を持参しましょう。

美 術 Ⅰ
色彩の基本，切手のデザイン，ポスター制作，鹿児島県の美術工芸品などのレポートを中心に，色や構図の基礎を学びます。

美 術 Ⅱ
風景画，写真，鑑賞，統一感のあるデザインなどのレポートを作成します。個々の表現力や作品完成への工夫を追求します。

美 術 Ⅲ
ドローイング，美術史，文化財，自由課題などのレポート作成を通して個々の創造性や表現の可能性を高めます。

書　道

書道の学習は，感性豊かな人づくりを目指し，書の表現（臨書・創作）と鑑賞の幅広い書活動を行います。スクーリングでは，レポートに沿った範囲で基礎的なことを学習します。書道用具を持参しましょう。共同学習では，教科書の内容に沿って学習したことを学習報告書にまとめ，レポートを作成します。

書 道 Ⅰ
書の伝統に基づき，漢字の書・仮名の書・漢字仮名交じりの書を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けます。

書 道 Ⅱ
書の歴史に触れながら，古典の臨書と創作・鑑賞の幅広い書活動から創意工夫する制作の喜びを体験します。

書 道 Ⅲ
生活の中に書を生かす技能や創造的な書表現の学習を深め，書を愛好する心情を育みます。

英　　語

・・・「英語コミュニケーションⅠ」必履修

英語コミュニケーションⅠ
　英語を聞いたり，話したり，読んだり，書いたりすることを通して，英語に関する知識や技能を身につけるとともに，社会の様々な出来事について論理的に考えたり，意見を述べたりする力を養います。また英語を用いて主体的に他者とコミュニケーションを図ろうとする姿勢を育成することを目標としています。

英語コミュニケーションⅡ
　英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに，情報や考えなどを的確に理解したり，適切に伝えたりする能力を培うことを目標としています。選択科目ですが，英語が得意または英語が好きな生徒は受講してください。

英語コミュニケーションⅢ
　英語を通じて，異なる言語や文化および生活様式に対する関心・理解を深め，積極的なコミュニケーションを図るための情報や考えなどを的確に理解する能力を培い，社会生活において活用できるようにすることを目標としていいます。やや長くて難しい英文も取り扱います。

英語入門
　英語の苦手な方を対象とし，アルファベットの練習や中学１年生段階の基礎を学ぶことを目標としています。この科目を受講する生徒は必履修科目の英語コミュニケーションIを次年度以降に学習します。

家　　庭

・・・「家庭総合」必履修
「フードデザイン」「消費生活・安全」「消費生活・契約」「保育基礎」は「家庭総合」を履修後に受講できる。

家庭総合
　人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活・環境などについて，生活を主体的に営むために必要な知識や技能を体験的・総合的に学びます。
　実習課題は①で「基礎縫い」，②前・②で「調理」があります。

フードデザイン
　食生活の充実・向上をめざして，食生活の変化と現状の問題点，これからの食生活や食べることの意義と役割，健康と栄養・食物とのかかわり，調理の基本について学びます。
　自宅での調理実習課題が２回あります。

消費生活・安全
消費生活・契約
　流通や販売方法が複雑化・多様化している中での財・サービスの選択について適切な意思決定ができるようにするとともに，消費者の権利と責任など消費生活に関する知識と技術を学びながら，環境保全に配慮した消費生活について学びます。

保育基礎
　保育は子どもの育ちを支える人間としての基本的な営みであり，人はかかわりの中で育つ存在。
　どのようにしたら生き生きと成長していくことができるのか，子どもの育ちについて学んでいきます。また，保育の学習を通して新たな「自分」を発見することもねらいとしています。

情　　報

・・・「情報Ⅰ」必履修

情報Ⅰ

「学習アプリを使って勉強する」「Web サイトを検索して調べものをする」など，みなさんは既に日常生活の中でコンピュータやスマートフォンなどを活用していると思います。このように情報機器は私たちに便利さや楽しみを与えてくれます。また，情報機器を活用することは，将来，社会で活躍するためにも必要です。『情報I』では，情報や情報機器についてよく理解し，それを上手に活用する方法を身につけるための学習をします。

商　　業

ビジネス基礎

ビジネスに関する基礎的な知識と技術を習得し，経済社会の一員としての望ましい心構えを身に付けるよう学習します。

主な内容として，経済生活とビジネスに関する知識，企業活動の基礎，売買に関する取引手順やビジネス計算等があります。

ビジネス法規

ビジネスに必要な法規に関する基礎的・基本的な知識を習得し，経済活動でおこる諸問題を法律的に考えて判断する能力と態度を身に付けるよう学習します。

主な内容として，権利・義務と財産権，契約，企業活動や社会生活に関する法等があります。

総合的な探究の時間

・・・卒業までに３単位以上必要です。
本校では総合Ａ・総合Ｂ・総合Ｃとして開講し，
それぞれ１単位ずつです。

総 合 Ａ

社会の中で，環境問題や高齢社会の問題を知り，将来を見据えてどのように関わっていくべきかを考えます。

面接を受ける時，総合Ａの共同学習課題用紙を受け取り完成させます。

総 合 Ｂ

現代社会は，国と国との協議なくして発展はあり得ません。その端緒としての国際理解について考え，また，郷土を見直してみます。

面接を受ける時，総合Ｂの共同学習課題用紙を受け取り完成させます。

総 合 Ｃ

日本国憲法・世界人権宣言・子どもの権利条約に触れることで，人権について考えます。また，自分の特性や進路情報を知り，将来の進路選択に役立てます。

面接を受ける時，総合Ｃの共同学習課題用紙を受け取り完成させます。

令和８年度　　行　事　計　画（前期）

4月			5月			6月		
1	水		1	金		1	月	**月曜Ｓ②**
2	木		2	土		2	火	
3	金		3	日	憲法記念日	3	水	
4	土		4	月	みどりの日	4	木	
5	日	学年始休終了	5	火	こどもの日	5	金	
6	月		6	水	振替休日	6	土	
7	火		7	木		7	日	**地区Ｓ③・自治連体育大会**
8	水		8	金		8	月	
9	木		9	土		9	火	
10	金		10	日	**日曜Ｓ①**	10	水	**水曜Ｓ③**
11	土		11	月	**月曜Ｓ①**	11	木	
12	日	**入学式**	12	火		12	金	
13	月	振替日	13	水		13	土	
14	火	**転編入生受講登録**	14	木		14	日	**日曜Ｓ④・地区Ｓ④**
15	水	**転入生受講登録**	15	金		15	月	**月曜Ｓ③** **レポート最終提出期限**
16	木	**転入生受講登録**	16	土		16	火	
17	金		17	日	**地区Ｓ①**	17	水	
18	土		18	月		18	木	
19	日		19	火		19	金	
20	月		20	水	**水曜Ｓ①**	20	土	
21	火	**受講登録締切**	21	木		21	日	**日曜Ｓ⑤･ふれあいレク**
22	水		22	金		22	月	
23	木		23	土		23	火	
24	金		24	日	**日曜Ｓ②･地区Ｓ②**	24	水	**水曜Ｓ④**
25	土		25	月		25	木	
26	日		26	火		26	金	
27	月		27	水	**水曜Ｓ②**	27	土	
28	火		28	木		28	日	**地区Ｓ⑤**
29	水	昭和の日	29	金		29	月	**月曜Ｓ④**
30	木		30	土		30	火	
			31	日	**日曜Ｓ③･芸術鑑賞会**			

・5/31(午前)スクーリング
　(午後)芸術鑑賞会

・6/7自治連体育大会(本校日曜Sなし)
・6/21(午前)スクーリング
　(午後)ふれあいレクリエーション

令和８年度　　行　事　計　画（前期）

7月			8月			9月		
1	水	水曜Ｓ⑤	1	土		1	火	
2	木		2	日		2	水	
3	金		3	月		3	木	
4	土		4	火		4	金	
5	日	日曜Ｓ⑥･地区Ｓ⑥	5	水		5	土	
6	月	月曜Ｓ⑤	6	木		6	日	追試験
7	火		7	金	受験資格発送	7	月	
8	水		8	土		8	火	
9	木		9	日		9	水	
10	金		10	月	山の日	10	木	
11	土		11	火		11	金	
12	日	日曜Ｓ⑦･地区Ｓ⑦	12	水		12	土	
13	月		13	木		13	日	
14	火		14	金		14	月	
15	水	水曜Ｓ⑥ レポート最終提出期限	15	土		15	火	新・編入生・Ｄ受講登録（予定）
16	木		16	日		16	水	転入生受講登録（予定）
17	金		17	月		17	木	
18	土	夏休開始	18	火		18	金	受講登録締切（予定）
19	日	日曜Ｓ⑧・島しょ地区Ｓ⑧	19	水		19	土	
20	月	海の日	20	木		20	日	
21	火		21	金		21	月	敬老の日
22	水		22	土		22	火	国民の休日
23	木		23	日	前期試験Ａ	23	水	秋分の日
24	金		24	月	前期試験Ａ　夏休終了	24	木	
25	土		25	火		25	金	
26	日		26	水		26	土	
27	月		27	木		27	日	卒業式
28	火		28	金		28	月	振替日・秋休開始
29	水		29	土		29	火	
30	木		30	日	前期試験Ｂ	30	水	
31	金	レポート・放送視聴票最終提出期限	31	月	前期試験Ｂ			

令和８年度　　行　事　計　画（後期）

10月

1	木	
2	金	
3	土	
4	日	秋休終了
5	月	
6	火	
7	水	
8	木	
9	金	
10	土	
11	日	**入学式　弁論大会　日曜Ｓ①**
12	月	スポーツの日
13	火	
14	水	
15	木	
16	金	
17	土	
18	日	**地区Ｓ①**
19	月	
20	火	
21	水	**水曜Ｓ①**
22	木	
23	金	
24	土	
25	日	**日曜Ｓ②･地区Ｓ②**
26	月	**月曜Ｓ①**
27	火	
28	水	**水曜Ｓ②**
29	木	
30	金	
31	土	

11月

1	日	**日曜Ｓ③･地区Ｓ③**
2	月	**月曜Ｓ②**
3	火	文化の日
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	**日曜Ｓ④･ふれあいレク**
9	月	
10	火	
11	水	**水曜Ｓ③**
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	**地区Ｓ④**
16	月	**月曜Ｓ③ レポート最終提出期限**
17	火	
18	水	
19	木	
20	金	
21	土	
22	日	**日曜Ｓ⑤･地区Ｓ⑤**
23	月	勤労感謝の日
24	火	
25	水	**水曜Ｓ④**
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	**文化祭**
30	月	

・11/ 8(午前)スクーリング
　　(午後)ふれあいレクリエーション

12月

1	火	
2	水	**水曜Ｓ⑤**
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	**日曜Ｓ⑥･地区Ｓ⑥**
7	月	**月曜Ｓ④**
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	
12	土	
13	日	**日曜Ｓ⑦･地区Ｓ⑦**
14	月	**月曜Ｓ⑤**
15	火	
16	水	**水曜Ｓ⑥ レポート最終提出期限**
17	木	
18	金	
19	土	
20	日	**日曜Ｓ⑧・島しょ地区Ｓ⑧**
21	月	
22	火	
23	水	
24	木	
25	金	冬休開始
26	土	
27	日	
28	月	**レポート・放送視聴票最終提出期限**
29	火	
30	水	
31	木	

令和８年度　　行　事　計　画（後期）

1月			2月			3月		
1	金	元旦	1	月		1	月	振替日
2	土		2	火		2	火	
3	日		3	水		3	水	
4	月		4	木		4	木	
5	火		5	金		5	金	
6	水		6	土		6	土	
7	木	冬休終了	7	日	**追試験**	7	日	
8	金	**受験資格発送**	8	月		8	月	
9	土		9	火		9	火	
10	日		10	水		10	水	
11	月	成人の日	11	木	建国記念の日	11	木	**受講登録（予定）**
12	火		12	金		12	金	**受講登録（予定）**
13	水		13	土		13	土	
14	木		14	日		14	日	**受講登録（予定）**
15	金		15	月		15	月	**受講登録（予定）**
16	土		16	火		16	火	**受講登録締切（予定）**
17	日	**後期試験Ａ**	17	水		17	水	
18	月	**後期試験Ａ**	18	木		18	木	
19	火		19	金		19	金	
20	水		20	土	**島しょ地区受講登録**	20	土	
21	木		21	日		21	日	
22	金		22	月		22	月	春分の日
23	土		23	火	天皇誕生日	23	火	
24	日	**後期試験Ｂ**	24	水		24	水	
25	月	**後期試験Ｂ**	25	木		25	木	
26	火		26	金		26	金	学年末休始
27	水		27	土		27	土	
28	木		28	日	**卒業式（予定）**	28	日	
29	金					29	月	
30	土					30	火	
31	日					31	火	

§５　教科・科目の学習

１　令和８年度　学習年間スケジュール表

前　期［スクーリング（面接時数・出席回数）・定期試験日程・レポートの提出期限］

教科	科　目	スクーリング		試験日	レポートの提出期限					
		面接時数	出席回数		進度１	進度２	進度３	進度４	進度５	進度６
国語	現代の国語・前	2	1	A日程	5月20日	5月30日	6月10日	6月25日	7月10日	7月22日
	言語文化・前	2	1	A日程						
	論理国語①	2	1	B日程						
	文学国語①	2	1	B日程						
	国語表現①	2	1	A日程						
地歴	地理総合・前	2	1	B日程						
	歴史総合・前	2	1	A日程						
	地理探究①	2	1	A日程						
	日本史探究①	2	1	B日程						
	世界史探究①	2	1	A日程						
公民	公共・前	2	1	A日程						
	倫理	2	1	B日程						
数学	数学Ⅰ①	2	1	A日程						
	数学Ⅰ②前	2	1	A日程						
	数学Ⅱ①	2	1	B日程						
	数学A・前	2	1	B日程						
	数学入門①	2	1	なし						
理科	科学と人間生活①	4	2	B日程	5月30日	6月25日	7月22日			
	物理基礎①	4	2	A日程						
	物理基礎②前	4	2	B日程						
	化学基礎①	4	2	B日程						
	化学基礎②前	4	2	A日程						
	生物基礎①	4	2	A日程						
	生物基礎②前	4	2	B日程						
	地学基礎・前	8	4	A日程	5月20日	5月30日	6月10日	6月25日	7月10日	7月22日
	物理①	8	4	B日程						
	化学①	8	4	B日程						
	生物①	8	4	B日程						
	地学①	8	4	B日程						
保体	体育A前	１０	5	A日程	6月10日	7月22日				
	体育B前	１０	5	A日程						
	体育C前	１０	5	B日程						
	体育D前	5	2回+1時間	なし						
	体育E前	5	2回+1時間							
	保健①	1	1（1時間）	B日程	5月30日	6月25日	7月22日			
	保健②前	1	1（1時間）	B日程						
芸術	音楽Ⅰ①	4	2	なし						
	音楽Ⅰ②前	4	2							
	音楽Ⅱ①	4	2							
	音楽Ⅲ①	4	2							
	美術Ⅰ①	4	2							
	美術Ⅰ②前	4	2							
	美術Ⅱ①	4	2							
	美術Ⅲ①	4	2							
	書道Ⅰ①	4	2							
	書道Ⅰ②前	4	2							
	書道Ⅱ①	4	2							
	書道Ⅲ①	4	2							

教科	科　目	スクーリング		試験日	レポートの提出期限					
		面接時数	出席回数		進度１	進度２	進度３	進度４	進度５	進度６
外国語	英語コミュニケーション Ⅰ ①	8	4	Ａ日程	5月20日	5月30日	6月10日	6月25日	7月10日	7月22日
	英語コミュニケーション Ⅰ ② 前	8	4	Ａ日程						
	英語コミュニケーション Ⅱ ①	8	4	Ｂ日程						
	英語コミュニケーション Ⅲ ①	8	4	Ｂ日程						
	英語入門 ①	4	2	なし	5月30日	6月25日	7月22日			
家庭	家庭総合 ①	4	2	Ｂ日程	5月20日	5月30日	6月10日	6月25日	7月10日	7月22日
	家庭総合 ② 前	4	2	Ｂ日程						
	消費生活・安全	2	1	Ａ日程	5月30日	6月25日	7月22日			
	保育基礎	4	2	Ａ日程	5月20日	5月30日	6月10日	6月25日	7月10日	7月22日
情報	情報 Ⅰ・前	4	2	Ｂ日程						
商業	ビジネス基礎・前	4	2	Ａ日程						
	ビジネス法規①	4	2	Ｂ日程						
総合	総合Ａ・前	2	1	なし	6月10日	7月22日				
	総合Ｂ・前	2	1							
	総合Ｃ・前	2	1							

この表の見方

（１）　スクーリング（面接時数・出席回数）

面接時数とは受験資格に必要な時間数です。面接時間は原則９０分で２時間分の出席となります。例えば，面接時数４時間の科目は２回出席すれば，必要な時間数を満たすことになります。

（２）　試験日

Ａ日程・Ｂ日程ともに，日曜日と翌日の月曜日に行われます。ただし，月曜日は本校のみ実施されます。また，**「なし」**となっている科目の試験はありません。

※詳しくはＰ３１・Ｐ３２「試験」を見てください。

（３）　レポートの提出期限

●各科目のレポート枚数は２～６枚です。進度ごとの提出期限までに提出してください。

●**６月１５日，７月１５日，７月３１日**にレポートの**最終提出期限**が定められています。それぞれの期限までに決められた枚数のレポートを提出しないと試験を受験できず，単位修得もできません。

６月１５日　レポート６枚 は進度１・２，３枚 は進度１

７月１５日　レポート６枚 は進度３・４，３枚 は進度２，２枚 は進度１

７月３１日　レポート６枚 は進度５・６，３枚 は進度３，２枚 は進度２，放送視聴票

レポート提出上の諸注意

（１）　レポートは進度１から順序よく提出してください。
（２）　レポート提出は郵送（消印有効）のみです。
（３）　再提出を求められたレポートは正しく解答し，指定された期日までに送付してください。

後　期

教科	科　目	スクーリング		試験日	レポートの提出期限					
		面接時数	出席回数		進度１	進度２	進度３	進度４	進度５	進度６
国語	現代の国語・後	2	1	Ｂ日程	10月20日	10月30日	11月10日	11月25日	12月10日	12月22日
	言語文化・後	2	1	Ｂ日程						
	論理国語②	2	1	Ａ日程						
	文学国語②	2	1	Ａ日程						
	国語表現②	2	1	Ｂ日程						
地歴	地理総合・後	2	1	Ａ日程						
	歴史総合・後	2	1	Ｂ日程						
	地理探究②	2	1	Ｂ日程						
	日本史探究②	2	1	Ａ日程						
	世界史探究②	2	1	Ｂ日程						
公民	公共・後	2	1	Ｂ日程						
	政治・経済	2	1	Ａ日程						
数学	数学Ⅰ②	2	1	Ｂ日程						
	数学Ⅰ①後	2	1	Ｂ日程						
	数学Ⅱ②	2	1	Ａ日程						
	数学Ａ・後	2	1	Ａ日程						
	数学入門②	2	1	なし						
理科	科学と人間生活②	4	2	Ａ日程	10月30日	11月25日	12月22日			
	物理基礎②	4	2	Ｂ日程						
	化学基礎②	4	2	Ａ日程						
	生物基礎②	4	2	Ｂ日程						
	地学基礎・後	8	4	Ｂ日程	10月20日	10月30日	11月10日	11月25日	12月10日	12月22日
	物理②	8	4	Ａ日程						
	化学②	8	4	Ａ日程						
	生物②	8	4	Ａ日程						
	地学②	8	4	Ａ日程						
保体	体育Ａ後	１０	5	Ｂ日程	11月10日	12月22日				
	体育Ｂ後	１０	5	Ｂ日程						
	体育Ｃ後	１０	5	Ａ日程						
	体育Ｄ後	5	２回＋１時間	なし						
	体育Ｅ後	5	２回＋１時間							
	保健②	1	１（１時間）	Ａ日程	10月30日	11月25日	12月22日			
	保健①後	1	１（１時間）	Ａ日程						
芸術	音楽Ⅰ②	4	2	なし						
	音楽Ⅰ①後	4	2							
	音楽Ⅱ②	4	2							
	音楽Ⅲ②	4	2							
	美術Ⅰ②	4	2							
	美術Ⅰ①後	4	2							
	美術Ⅱ②	4	2							
	美術Ⅲ②	4	2							
	書道Ⅰ②	4	2							
	書道Ⅰ①後	4	2							
	書道Ⅱ②	4	2							
	書道Ⅲ②	4	2							

教科	科　目	スクーリング		試験日	レポートの提出期限					
		面接時数	出席回数		進度１	進度２	進度３	進度４	進度５	進度６
外国語	英語コミュニケーション Ⅰ ②	8	4	Ｂ日程	10月20日	10月30日	11月10日	11月25日	12月10日	12月22日
	英語コミュニケーション Ⅰ ① 後	8	4	Ｂ日程						
	英語コミュニケーション Ⅱ ②	8	4	Ａ日程						
	英語コミュニケーション Ⅲ ②	8	4	Ａ日程						
	英語入門 ②	4	2	なし	10月30日	11月25日	12月22日			
家庭	家庭総合 ②	4	2	Ａ日程	10月20日	10月30日	11月10日	11月25日	12月10日	12月22日
	消費生活・契約	2	1	Ｂ日程	10月30日	11月25日	12月22日			
	フードデザイン	4	2	Ｂ日程	10月20日	10月30日	11月10日	11月25日	12月10日	12月22日
情報	情報 Ⅰ・後	4	2	Ａ日程						
商業	ビジネス基礎・後	4	2	Ｂ日程						
	ビジネス法規②	4	2	Ａ日程						
総合	総合Ａ・後	2	1	なし	11月10日	12月22日				
	総合Ｂ・後	2	1							
	総合Ｃ・後	2	1							

この表の見方

（１）　**スクーリング（面接時数・出席回数）**

面接時数とは受験資格に必要な時間数です。面接時間は原則９０分で２時間分の出席となります。例えば，面接時数４時間の科目は２回出席すれば，必要な時間数を満たすことになります。

（２）　**試験日**

Ａ日程・Ｂ日程ともに，日曜日と翌日の月曜日に行われます。ただし，月曜日は本校のみ実施されます。また，**「なし」**となっている科目の試験はありません。

※詳しくはＰ３１・Ｐ３２「試験」を見てください。

（３）　**レポートの提出期限**

●各科目のレポート枚数は２～６枚です。進度ごとの提出期限までに提出してください。

●**１１月１６日，１２月１６日，１２月２８日**にレポートの**最終提出期限**が定められています。それぞれの期限までに決められた枚数のレポートを提出しないと試験を受験できず，単位修得もできません。

１１月１６日　レポート６枚 は進度１・２，３枚 は進度１

１２月１６日　レポート６枚 は進度３・４，３枚 は進度２，２枚 は進度１

１２月２８日　レポート６枚 は進度５・６，３枚 は進度３，２枚 は進度２，放送視聴票

レポート提出上の諸注意

（１）　レポートは進度１から順序よく提出してください。
（２）　レポート提出は郵送（消印有効）のみです。
（３）　再提出を求められたレポートは正しく解答し，指定された期日までに送付してください。

２　レポート

（1）　レポートの学習の進め方

通信教育は自宅学習が中心です。レポートは教科書・学習書・資料集をもとに解答し，学校へ提出してください。添削指導の後，返送されてきます。レポート学習を効率よく，スムーズに行うには，次のような点に注意することが大切です。

ア　受講登録後，送られてきたレポートが，自分が受講する科目なのか，受講申込書・学習状況通知で確認し，間違いがあった場合には，早めに担任へ連絡すること。遅くなると単位修得ができません。
イ　レポートの表紙には，注意事項が記載されています。必ず事前に確認すること。
ウ　レポート提出期限・スクーリング日・試験日等を自分の生活の中に組み入れて，長期の学習計画を立てること。
エ　レポート作成は，教科書・学習書・資料集を丹念に読み，ＮＨＫ高校講座も参考にしつつ，自力で取り組むこと。疑問点は，質問用紙やレポートの余白を利用し，指導を受けること。スクーリングだけでなく，電話も有効に利用すること。
オ　返送されたレポートの添削や批評を注意深く読んで復習し，次回のレポート作成のための参考にすること。レポートは大切に保管し，試験準備に役立てること。

（2）　評価（Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄが合格，Ｅは再提出）

レポートはＡ，Ｂ，Ｃ，Ｄ，Ｅの５段階評価です。評価Ｅは不合格で，再提出を求められます。また，提出期限に遅れたレポートの評価は低くなります。

（3）　レポートの返送と再提出

次の場合，レポートは添削されずに返送されますので，再提出してください。

ア　提出が提出期限前で著しく早いもの
イ　内容がきわめて不十分なもの（空欄が多い等）
ウ　用紙の破損が著しいもの

（4）　レポート提出日

消印日とします

（ポストに投函または簡易郵便局窓口に提出した場合，翌日・翌々日の消印が付くことがあるので注意）

※　令和８年度から本校のレポート用ポストは廃止しました。レポートは必ず郵送してください。

（5）　レポート最終提出期限

各レポートには，提出期限と最終提出期限が定められていますが，提出期限までに提出しましょう。**最終提出期限**は，あくまで病気等，やむを得ないときのためにあります。最終提出期限までに決められた枚数のレポートを提出しないと試験を受験できず，**単位修得もできません。**

（6） **レポート提出方法**

レポートは提出期限までに提出してください。また，「学習の手引き」はいつも手元において参考にしてください。それでもわからないことは，遠慮せずに学校に連絡してください。

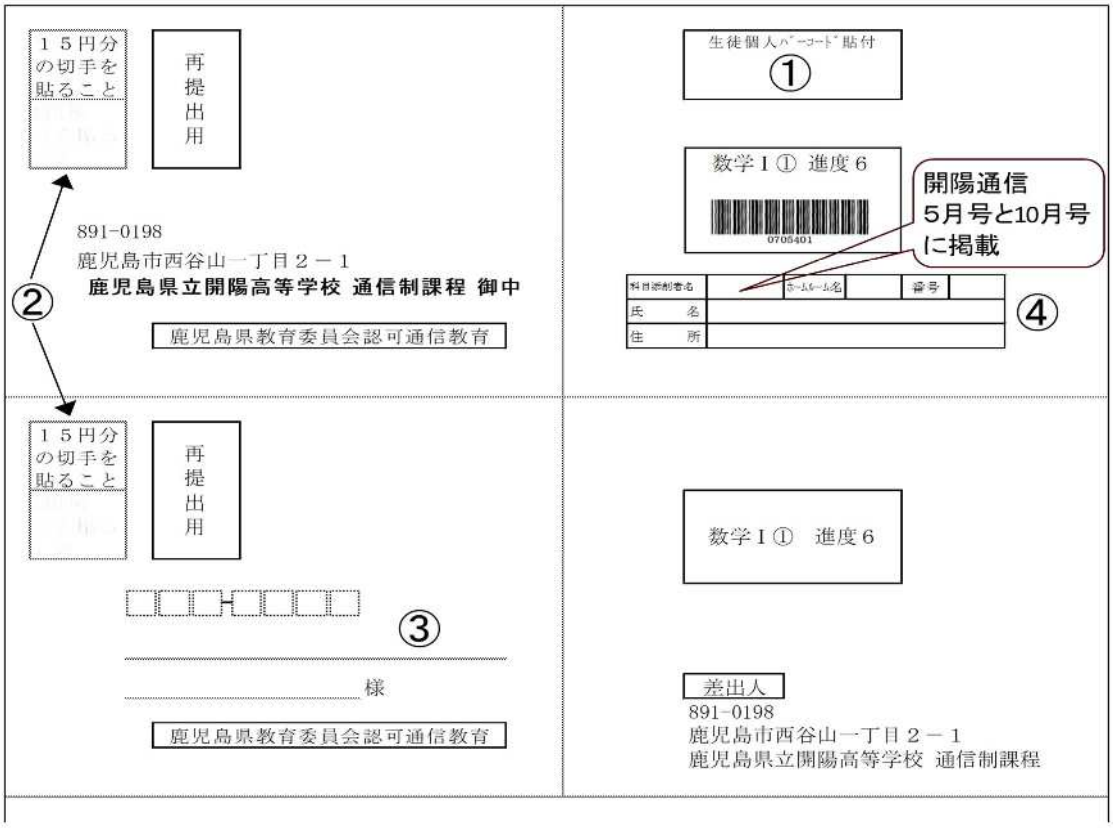
① 自分の学籍番号を示すバーコードシールを貼る。（２カ所）

② 学校宛の部分と返信用の部分にそれぞれ１５円分の切手を貼る。再提出のときには，新たにそれぞれ１５円分貼ること。

③ 返信用の部分に自分の郵便番号・住所・氏名を記入する。

④ 「差出人」の部分に必要事項をすべて記入する。添削する「科目添削者名」（開陽通信５月号と１０月号に掲載）も書いてください。

表（外側） ※科目により形式は異なります。



裏（内側）

科目 進度	提出期限	HR	番号	数学Ⅰ① 進度６	生徒個人ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ貼付	評価	添削者
数学Ⅰ① 進度６	7月22日			0705401	①	A B C D E	

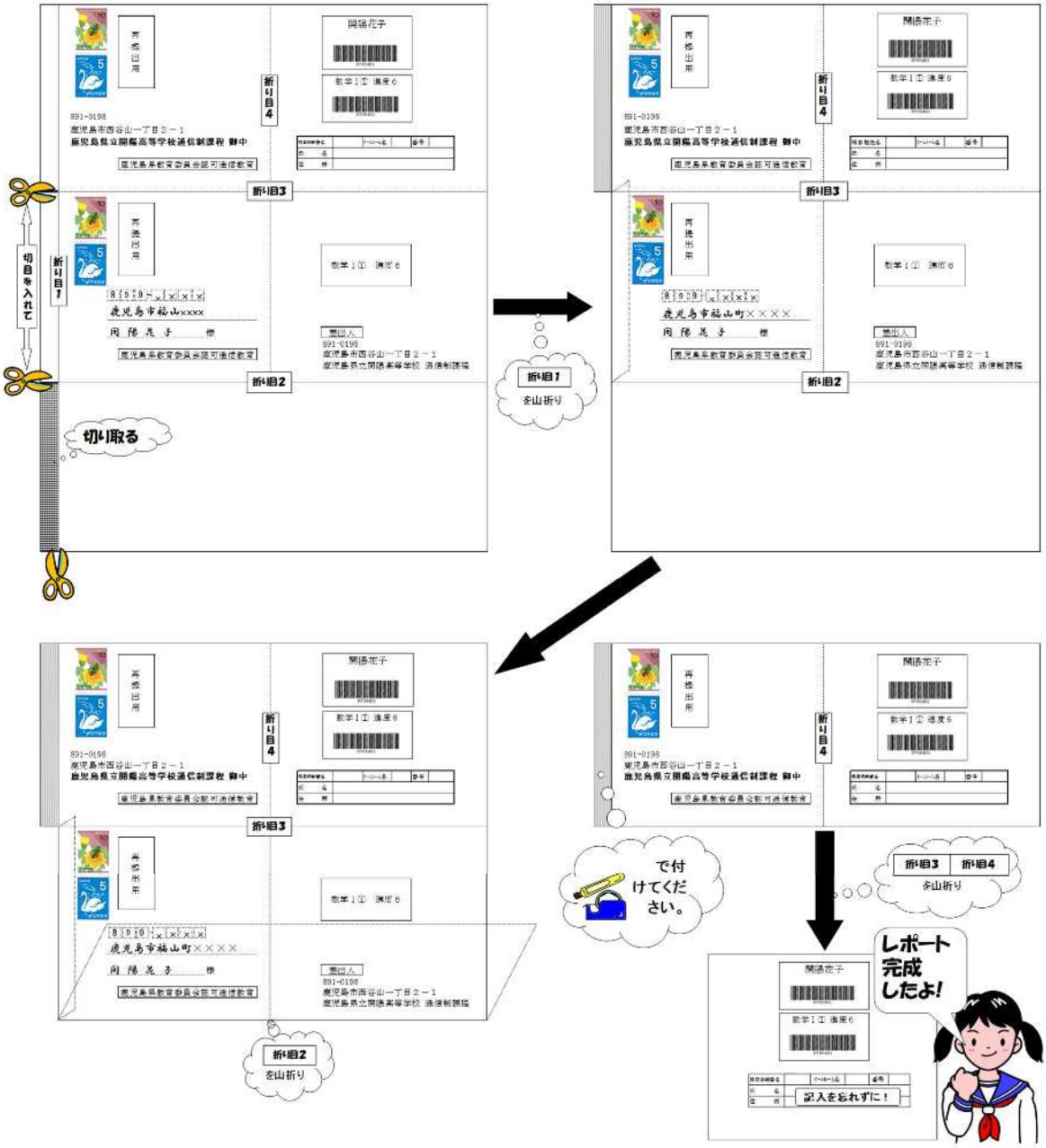
ホームルーム番号も記入してください。

⑤「付票」は切り取らない。

⑥ **学校宛の部分**が表になるように折り，セロテープでとめる。また，ホッチキス等は使用しない。

⑦ 添削指導で不合格（E）の場合は，指示された箇所を訂正して，指定された期間内に再提出すること。その他，教科の指示に従ってください。

（7） レポートの折り方



◇美術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲについては提出方法が異なります。
（Ａ４サイズ以上の封筒を用意する必要があります）
※詳しくはレポートにある説明を読んでください。

◇再提出の場合
再度，切手を15円ずつ貼って使用します。

◇提出する前に再度確認
氏名・住所の記入，バーコードシール貼付

３　スクーリング（面接指導）

（１）　スクーリングの種類

種　　類	実　　施　　日	時　　限
日　曜　Ｓ	日曜日に**本校**で実施するスクーリング	１～６限
地　区　Ｓ	日曜日に**協力校**で実施するスクーリング	１～６限
島しょ地区Ｓ	日曜日に**島しょ地区協力校**で実施する第８回目のスクーリング	１～６限
月　曜　Ｓ	月曜日に**本校**で実施するスクーリング	１～６限
水　曜　Ｓ	水曜日に**本校**で実施するスクーリング （事前に申請を要します）	１～４限

※具体的な実施日については，本冊子の「行事予定表」（Ｐ１７～２０）で確認できます。

（２）　スクーリング場所の登録・変更

スクーリング場所（本校・協力校）は入学時の提出書類「身上調査書」に記入された場所を登録しています。登録地区を変更する際は担任に申し出てください。

※本校の生徒は，協力校では受講できません。

※協力校の生徒は，本校のスクーリングを受けられますが，登録以外の協力校では受講できません。

（３）　本校スクーリング

前・後期それぞれ日曜日に８回，月曜日に５回実施します。

時間割や教室等の詳細については，「開陽通信」に掲載します。

（４）　地区スクーリング

次表に示す各地区協力校で前・後期それぞれ日曜日に７回実施します。

島しょ地区は８回実施します。

地　　区	協　力　校	地　　区	協　力　校	地　　区	協　力　校
指　宿	頴娃高校	川　辺	川辺高校	川　内	川内高校
出　水	出水工業高校	大　口	大口高校	志布志	志布志高校
鹿　屋	鹿屋高校	種子島	種子島高校	屋久島	屋久島高校
大　島	大島高校	喜　界	喜界高校	徳之島	徳之島高校
沖永良部	沖永良部高校	与　論	与論高校		

地区スクーリングの授業担当者は，協力校を含む当該地区の先生方になります。本校の職員が出張するのは，前・後期それぞれ２回（島しょ地区は１回）です。

本校スクーリングと異なり，時間割，教室，受講の形態等それぞれの地区により若干の違いがあります。詳細は担任より提示されますが，理解を深めるためにも開講式・第１回地区スクーリングに参加しましょう。

（５） スクーリング時間の制約

同一週内に日曜・地区・月曜スクーリングが行われる場合，同じ科目は２時間まで受けられす。

（例）日曜日（日曜Ｓ・地区Ｓ）に「体育Ａ」を２時間受けて，次の日の月曜日（月曜Ｓ）にまた「体育Ａ」を２時間受けても無効になります。

※出席として認められるのは２時間です。

（６） スクーリングの必需品

受ける科目の**レポート・教科書・学習書（ない科目もあります）**・バーコードシール・筆記用具等を持参してください。**体育の面接指導では，運動ができる服装に体育館シューズが必要です**（スカート不可）。

（７） スクーリング出席時の留意点

ア　本校でのスクーリングに参加する場合は，できるだけ日曜スクーリングに出席してください。日曜日に都合の悪い場合は月曜スクーリングに出席しましょう。
イ　スクーリングに登校した場合は，まず「日課表」を取りましょう。１日の学習を記録し，下校時には授業担当者に提出します。「出席カード」は，毎時間，授業担当者に提出します。
ウ　「出席カード」及び「日課票」の科目記入欄は，「地理総合・前」「音楽Ⅰ①後」等の正しい科目名を書いてください。（下に記入例があります。）
エ　スクーリング時の遅刻・早退は，原則としてスクーリングを受講したものと認められません。
オ　公共交通機関が遅延等の場合，公的な証明書（遅延証明書等）でスクーリングを認める場合があります。
カ　その日，最後に使用する教室で受講した生徒は，授業終了後清掃をします。
キ　地区協力校の施設・設備を汚したり，傷つけたりしないように留意してください。
ク　生徒証明書（ＩＤカード）を携帯しましょう。（提出を求められる場合があります。）

（８） スクーリング・行事の中止等

自然災害（台風・大雪等）や感染症の流行に伴う休校等や学校行事の決行・中止・延期については学校で判断し，安心メールや，ＨＰ，ブログに掲載します。詳細はＰ４６～４８にありますので，各自確認してください。

◆出席カード・日課票の記入例

☆出席カード（毎回の学習を書こう）

（鹿児島県立開陽高等学校通信制課程）

出　席　カ　ー　ド

○○年 5 月 2 8 日	3 限	指導者検印		
	4 限			
区　分	科目名，内容等	時間数	学級担任処理 印	
面接科目名	化学基礎①	2		
別活動				
ムルーム名	番号	会場	科目担任処理 印	
A 6	25	本校		
名	開陽太郎			

生徒用バーコード票を貼る

開陽太郎

0706401

このｶｰﾄﾞ１枚つき，１科目または１内容のみ記入する。

バーコードシールを必ず貼ってください。忘れた場合には学籍番号等を記入！

◇授業担当者へ毎回提出！

★日課票（一日の学習を書こう）

（鹿児島県立開陽高等学校通信制課程）

日　課　票

○○　年　5　月 2 8　日

校時	科　目	指導者	校時	科　目	指導者
1	数学Ⅰ	織田	清掃	2階トイレ	北条
2	数学Ⅰ	織田	LHR	某商組賞会業内	足利
3	生物基礎①	豊臣	5	体育Ａ	徳川
4	生物基礎①	豊臣	6	体育Ａ	徳川

ホームルーム名	組	番号	会　場	最終指導者 印
Ⓐ・B・C・N	6	25	本　校	

生徒用バーコードを貼る

開陽太郎

0705401

学級担任 印

下校時に必ず，日課票を提出しましょう。

◆下校時に担当者へ提出！

４　試験

（１）　定期試験

ア　種類

①　前期試験　　Ａ日程（８月２３日）・Ｂ日程（８月３０日）

②　前期追試験　（９月　６日）

③　後期試験　　Ａ日程（１月１７日）・Ｂ日程（１月２４日）

④　後期追試験　（２月　７日）

イ　実施科目

前期試験・後期試験は，各教科の科目をＡ日程（前半）とＢ日程（後半）に分けて実施します。

具体的な科目名および日程は，Ｐ２１～２４に記載してあります。

ウ　試験範囲

各科目とも，レポート中心に出題されます。試験についての範囲や対策等は「開陽通信」に詳しく掲載されます。（前期試験…「開陽通信」７・８月号　　後期試験…「開陽通信」１２月号）

エ　合格の基準

前期，後期それぞれに**試験点やレポート点**をもとに**成績が算出**されます。合格基準点(原則として３０点)に満たない場合は，当該科目を追試験で受験します。

オ　試験会場

本校及び各協力校において実施します。協力校が行事等で使用できない場合，試験期日は変更せずに会場を変更して実施します。会場変更の際には「開陽通信」等でお知らせします。

◎　自分の登録地区以外での受験を希望する場合には，必ず「学習の手引き」末尾の「登録地区外受験申請書」を担任宛に，**前期７月３１日必着，後期１２月２８日必着**で提出してください。

申請がなされない場合は，登録地区外での受験は認められません。

カ　受験資格

定期試験を受験するためには，Ｐ２１～２４に記載されている各科目の前・後期の所定の面接時数を満たし（放送視聴票も含む），各期のレポートが全て合格していることが条件です。受験資格は郵送にて通知します。

キ　追試験について

追試験は前・後期にそれぞれ実施します。対象者には郵送にて通知します。（後期に前期の追試験は受けられません。）

下記①，②の生徒が対象です。

①　上記カの条件を満たしながら，前・後期のＡ・Ｂ日程の試験を受験できなかった者**（未受験者）**

②　前・後期試験を受験し，合格基準点に満たない点数をとった者**（再受験者）**

※　①の場合は，最大６科目まで受験可能です。未受験のすべての科目の受験を保障するものではありません。

※　Ａ・Ｂ日程で受験するように心掛けてください。

安易な追試験での受験はやめましょう。

ク　欠席の連絡について

やむを得ず受験できない場合は、必ず担任に連絡すること。下記の理由による欠席は、公的な証明書を提出することで，未受験者が追試験で７科目以上受験できます。

①　「公共交通機関の遅延・運休・欠航」

②　「交通事故」

③　「インフルエンザ等による出席停止」

④　「卒業予定者の緊急入院」

また，上記の理由で追試験を受験できなかった場合，別日に受験を認めることがあります。

ケ　**自然災害時等の試験の実施について**

自然災害（台風・大雪等）に伴う試験の中止・実施等は，学校で判断し，中止の場合のみホームページ（Ｐ４６），安心メール（Ｐ４７・４８）でお知らせします。各自で確認してください。その後の対応については，学校から連絡します。

（２）　受験上の注意

受験にあたっては，次の点を厳守してください。

ア　厳正な態度で受験し，不正行為がないようにする。不正を行うと，受験は無効となる。

イ　受験中は机上や机中に教科書・学習書・レポート等を置かない。

ウ　答案はたとえ白紙であっても必ず提出する。持ち帰ることは厳禁とする。

エ　試験時間は，４５分を原則とし，開始２０分後から答案提出後の退室を認める。（本校では，試験開始１０分経過以降の入室は認めない。）

オ　本校での試験は１限につき１科目しか受験できない。ただし，協力校での受験は答案提出後引き続き次の科目を受験できる。

カ　試験の際には，当該試験の受験資格が判断できる「受験資格通知」・生徒証明書（ＩＤカード）を必ず持参する。

キ　携帯電話・スマートフォン等の使用は禁止する。試験中は電源を切りバッグ等に入れておく。

（３）　その他の注意

試験終了後，下校する際に，**「日課票」を必ず提出する。**

《各科目試験実施一覧表》

<table>
<tr><th>試験の種類</th><th>実施科目・方法等の説明</th><th colspan="3">実施期日</th><th>試験場</th></tr>
<tr><td rowspan="4">定期試験
・前期試験
・後期試験</td><td rowspan="4">・本年度の受講科目について実施する正規の試験

・二期（前・後期）に分け，実施科目をＡ・Ｂ日程に分けて実施する。</td><td rowspan="2">前期試験
Ａ　・　Ｂ</td><td>Ａ</td><td>８月２３日（日）
８月２４日（月）</td><td rowspan="4">日曜日
・本校
・協力校

月曜日
・本校</td></tr>
<tr><td>Ｂ</td><td>８月３０日（日）
８月３１日（月）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">後期試験
Ａ　・　Ｂ</td><td>Ａ</td><td>１月１７日（日）
１月１８日（月）</td></tr>
<tr><td>Ｂ</td><td>１月２４日（日）
１月２５日（月）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">追試験</td><td rowspan="2">・受験資格がありながら，定期試験を受験していない者について６科目まで該当の科目を実施する（未受験）。
・定期試験の成績が芳しくなく再度試験が必要と科目担任が判断した者について該当の科目を実施する（再受験）。</td><td colspan="2">前期追試験</td><td>９月　６日（日）</td><td rowspan="2">日曜日のみ
・本校
・協力校</td></tr>
<tr><td colspan="2">後期追試験</td><td>２月　７日（日）</td></tr>
</table>

§６　特　別　活　動

１　卒業の要件

特別活動の内容には，ホームルーム活動・生徒会活動及び学校行事等があり，１期につき５時間以上の出席を標準とし，卒業までに３０時間以上出席しなければなりません。（転編入生については，前籍校での在籍期間・修得単位数等を考慮して算定する。）

２　ホームルーム活動

ホームルーム活動は，共同生活の問題点や学習上の課題を集団的に考え，自主的に解決していく活動です。スクーリング日に開かれるロングホームルーム（LHR）では，諸連絡の確認のほかに，学校生活，社会生活，進路などについて一緒に考えることで，交友を深めていきます。

３　生徒会活動

生徒会活動は，全校生徒を会員として，学校における自分たちの生活の改善と向上を目指し，学校生活の運営に生徒の立場から自発的に参加する活動です。

～生徒会活動の内容～

（１）　学校における生徒の生活の改善と向上を図る活動

（２）　ホームルーム・部活動等における生徒会活動の連絡調整に関する活動

（３）　学校行事等の推進に関する活動

生徒会活動の運営は，地区生徒会を基礎として行われます。生徒会の行事的活動としては，本部委員会，代議員会，ふれあいレクリエーション，弁論大会，文化祭，地区や他校との交歓会，地区誌作成等があります。

４　学校行事

学校行事は，学校生活に潤いを与え，仲間たちとの交友を広げます。生き生きとした思い出に残る学校生活を送るために，積極的に学校行事に参加してください。本校で行う学校行事には次のものがあります。

ア	儀式的行事	・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 入学式・卒業式
イ	学芸的行事	・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 文化祭・弁論大会・芸術鑑賞会
ウ	健康安全・体育的行事	・・・・・・・・ ふれあいレクリエーション

これらの学校行事には，自主的・積極的に参加してください。特に，ふれあいレクリエーション（６月・１１月）・芸術鑑賞会（５月）・弁論大会（１０月）・文化祭（１１月）等は，大きな行事です。

§７　学校と生徒との関係

１　受講登録をしない場合の措置

受講登録をしていない生徒は，学習活動をすることができません（Ｐ９参照）。
本校では，次に該当する生徒は「退学（除籍）」とします。

（１）　２年連続して受講登録をしなかった者
（２）　休学期間を満了したにもかかわらず復学しなかった者

２　身分上の手続き（用紙は本書末尾に添付してあります。）

次の場合は，所定の「届」「願」を提出してください。

（１）　住所又は氏名を変更したとき　・・・・・・・・・・・・・・・・・　住所・氏名変更届
（２）　病気，その他の理由で長期間学業を続けられないとき　・・・・　休学願
（３）　休学中の生徒が復学しようとするとき　・・・・・・・・・・・・　復学願
（４）　やむを得ない事情があって，退学しなければならないとき　・・　退学願
（５）　他の高校へ転学を希望するとき　・・・・・・・・・・・・・・・　転学願
（６）　本校の全日制課程又は定時制課程へ転籍を希望するとき　・・・　転籍願
（７）　留学しようとするとき　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　留学願
（８）　転科を希望するとき　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　転科願

［技能連携校を退学すると，衛生看護科には在籍できませんので，普通科への転科手続きをしてください。］

３　一般的手続き（用紙は本書末尾に添付してあります。）

（１）　証明書の交付申請

ア　在学証明書・成績証明書・調査書等の交付を受けたいときは，学校所定の様式による証明書交付申請書を提出してください。また郵便で交付申請するときは，返信用切手を貼付した返信用封筒（宛名明記）を同封してください。返信用切手代については，巻末の「事務関係の手続き」に記載してあります。

イ　卒業後は，証明書１通につき手数料４００円が必要です。定額小為替（何も記入しない。）で必要枚数分申し込んでください。

（２）　学割証の交付申請（ＪＲ・船舶（離島航路））

学割証の交付を受けたいときは，学生割引証交付願を提出してください。
郵送での交付申請は(1)アに同じです。また，使用については制限があります。詳細はＰ４１を参照してください。

（３）　校外における集会届

生徒会（地区生徒会を含む。）やホームルームのレクリエーションとして交歓会，遠足，海水浴，登山，キャンプ等の校外における集会活動を行う場合は，必ず「集会届」を提出しなければなりません。

４　賞罰

（１）　校長は，本校生徒としての本分を尽くし，他の生徒の模範となる者，その他適当と認める者を表彰することがあります。
（２）　校長は，教育上必要がある場合は懲戒処分をすることがあります。
（３）　校長は，生徒が次のいずれかに該当する場合は，退学に処することがあります。

ア　性行不良で改善の見込みがないと認められる者
イ　学校の秩序を乱し，その他生徒としての本分に反した者

５　諸届・願

本書末尾に添付していない用紙は，担任宛に請求してください。なお，郵送を希望する場合は，１１０円切手貼付の返信用の封筒（宛名明記）を同封してください。

６　学籍・ＨＲ番号等

入学時に学籍番号とホームルーム番号（ＨＲ番号）が決定します。それぞれの番号は以下に示した内容を表します。大切な番号ですので必ず覚えておいてください。また，後日，生徒証明書（ＩＤカード）が配付されます。

（１）　ホームルーム番号

年度ごとに変更する番号（１年間だけ使用）で，その年度に所属しているクラスとクラス内での整理番号を表します。最初の３文字はクラスを示します。例えば，ホームルーム番号Ａ０３２５はＡ０３組の２５番の生徒を表します。

Ａ０３　２５
クラス　番号

（２）　学籍番号

学籍番号は入学時に決定し，在学中変更しない番号です。番号は７桁の数字で，最初の２桁の数字は入学年度（西暦）の下２桁を示します。例えば，学籍番号**２６５１９３６**は２０２６年度に入学した生徒を表す他，下表のように付しています。

例）　２６　５　１　９３６
A　B　C　D

入学年度 A	所属課程学科等 B		入学区分 C		生徒番号 D	
					前期入学	後期入学
００～９９ 西暦2000年を00 西暦2026年を26 等のように 入学年度を西暦の下２桁で表示する	5	普通科	1	新入生	001～499	501～999
			2	転入生	001～499	501～999
			3	編入生	001～499	501～999
	6	衛生看護科	1	新入生	001～499	501～999
			2	転入生	001～499	501～999
			3	編入生	001～499	501～999
	9	併修生	1	奄美定時併修	001～499	
			2	その他併修生	001～499	
	0	科目履修生	8	科目履修生	001～499	

（３）　生徒証明書（ＩＤカード）

生徒一人一人の認証と安全を確保するために，本校及び協力校でスクーリングを受ける生徒は，ＩＤカードを着用（携帯）することになっています。また，本校３階にあるパソコンで，学習状況確認の際にも必要です。

生　徒　証　明　書

開　陽　花　子

学籍番号 No.

ここに記されている数字が学籍番号です。

※試験の際はＩＤカードが必要です。紛失や期限切れの場合は担任へ連絡してください。

住所・氏名変更届※本書末尾に添付してあります。

氏名又は住所を変更した場合，速やかに届けてください。

また，転居の場合は，近くの郵便局に転居届を出してください。

§８　学校との連絡

通信教育においては，学校と生徒との間で郵便や電話等で連絡を取り合うことが頻繁にあります。支障なく連絡が取り合えるように，以下の項目を熟読し，厳守してください。

１　生徒から学校への連格

（１）　電話による場合

①　電話は，休校日以外の午前９時～午後４時までにかけてください。

②　教科関係(レポート内容等)や担任への諸連絡は，通信制職員室直通電話０９９－２６３－３７２３へかけてください。スクーリング等の振替休日があるので行事計画表（Ｐ１７～２０）で確認してください。

③　０９９－２６３－３７３３の電話は全日制及び定時制と一緒に使用しています。

（２）　郵便による場合

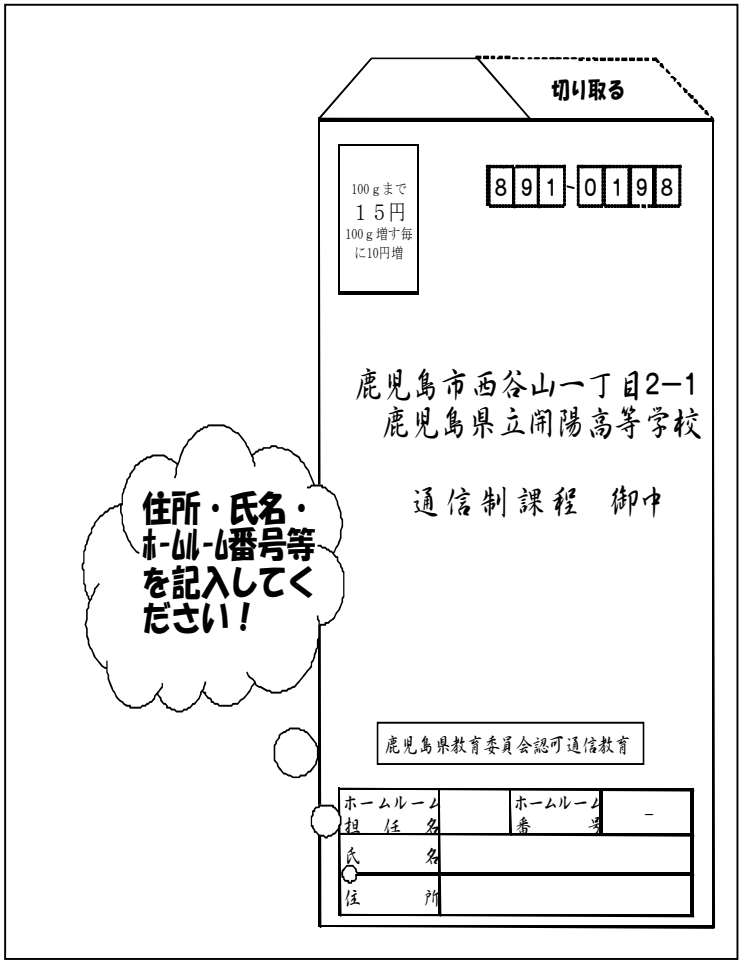
①　質問書等を本校へ送付するときは，**第４種郵便物**の取り扱いを受けることができます。ただし，次のことに注意してください。

ア　開陽高校通信制へ送付するものに限られること。

イ　郵便物の表面の見やすいところに**「鹿児島県教育委員会認可通信教育」**と記載して，開封（封筒の一部を切っておく。）にすること。

②　郵便料金は，次の表のとおりです。

重量	料金
１００ｇまで	１５円
２００ｇまで	２５円
３００ｇまで	３５円
４００ｇまで	４５円
５００ｇまで	５５円
６００ｇまで	６５円
７００ｇまで	７５円
８００ｇまで	８５円
９００ｇまで	９５円
１ｋｇまで	１０５円



③　証明書交付申請書，住所・氏名変更届，休学願及び退学願等を送付するときは「通常郵便物」の取り扱いになりますので，１１０円分の切手を貼ってください。返信を必要とするときには，返信用切手を貼った返信用封筒（宛名明記）を同封してください。なお，返信用切手代については，巻末の「事務関係の手続き」に記載してあります。

④　送金の方法

学校への送付金は，送金の内訳を記入した用紙を必ず同封し，郵便為替か現金書留で送ってください。なお，郵便為替で送金するときは必ず簡易書留扱いで送付し，その際，郵便為替には何も記入しないでください。領収書の必要な生徒は，１１０円分の切手を貼った返信用の封筒（宛名明記）を同封してください。

２　学校から生徒への連絡

（１）　開陽通信

生徒の学習活動を促進し活発にするために，機関誌「開陽通信」を年１０回発行し，郵送します。通信制での学習活動にとって大変重要な内容ですので，隅々までよく読んでください。

主な内容は以下のとおりです。

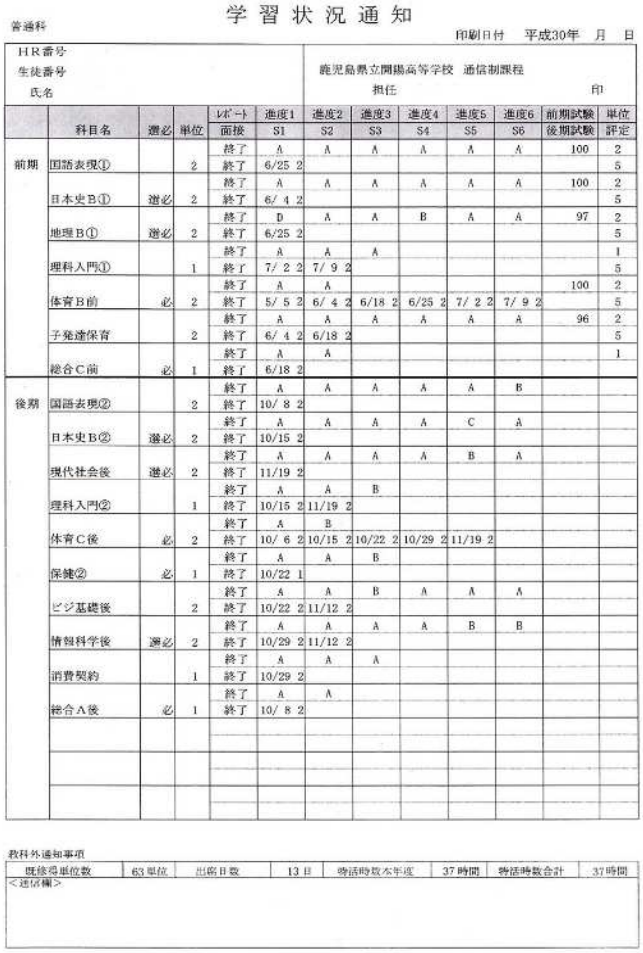
①　学習上の重要事項（時間割・試験範囲・受講登録の日程等）
②　学校行事・生徒会活動等の連絡と記録・報告
③　各時点での特別注意事項
④　生徒にとって有意義な話題

その他，進路に関すること，地区活動に関すること等の連絡が添えられることもあります。

通信制での生活の大切な記録資料ともなるので，毎号ファイルに綴じて保存しましょう。

（２）　学習状況通知

学習状況通知を学校から皆さんに郵送します。学習状況通知は皆さんの学習状況（スクーリング出席状況・レポート提出状況・特別活動出席状況等）を知らせる大事な連絡です。



学 習 状 況 通 知

普通科　　印刷日付　平成30年　月　日

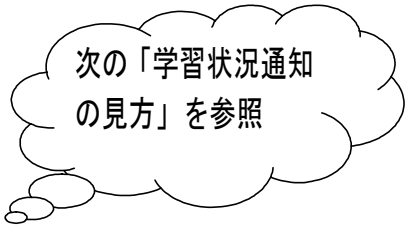
ＨＲ番号
生徒番号
氏名

鹿児島県立開陽高等学校　通信制課程
担任　　印

	科目名	選必	単位	レポート 面接	進度1 S1	進度2 S2	進度3 S3	進度4 S4	進度5 S5	進度6 S6	前期試験 後期試験	単位 評定
前期	国語表現①		2	終了 終了	A 6/25 2	A	A	A	A	A	100	2 5
	日本史Ｂ①	選必	2	終了 終了	A 6/ 4 2	A	A	A	A	A	100	2 5
	地理Ｂ①	選必	2	終了 終了	D 6/25 2	A	A	B	A	A	97	2 5
	理科入門①		1	終了 終了	A 7/ 2 2	A 7/ 9 2	A					1 5
	体育Ｂ前	必	2	終了 終了	A 5/ 5 2	A 6/ 4 2	6/18 2	6/25 2	7/ 2 2	7/ 9 2	100	2 5
	子発達保育		2	終了 終了	A 6/ 4 2	A 6/18 2	A	A	A	A	96	2 5
	総合Ｃ前	必	1	終了 終了	A 6/18 2	A						1
後期	国語表現②		2	終了 終了	A 10/ 8 2	A	A	A	A	B		
	日本史Ｂ②	選必	2	終了 終了	A 10/15 2	A	A	A	C	A		
	現代社会後	選必	2	終了 終了	A 11/19 2	A	A	A	B	A		
	理科入門②		1	終了 終了	A 10/15 2	A 11/19 2	B					
	体育Ｃ後	必	2	終了 終了	A 10/ 6 2	B 10/15 2	10/22 2	10/29 2	11/19 2			
	保健②	必	1	終了 終了	A 10/22 1	A	B					
	ビジ基礎後		2	終了 終了	A 10/22 2	A 11/12 2	B	A	A	A		
	情報科学後	選必	2	終了 終了	A 10/29 2	A 11/12 2	A	A	B	B		
	消費契約		1	終了 終了	A 10/29 2	A	A					
	総合Ａ後	必	1	終了 終了	A 10/ 8 2	A						

教科外通知事項

既修得単位数	63 単位	出席日数	13 日	特活時数年度	37 時間	特活時数合計	37 時間
＜通信欄＞							



（３）　その他

受験資格通知，成績通知票，受講登録関係書類など郵送されます。

通信制では郵送であらゆる連絡をします。これらの郵送物は必ず内容を確認して，不明な点があれば速やかに学校に連絡してください。

「学習状況通知の見方」について

学 習 状 況 通 知

普通科　　印刷日付　令和　年　月　日

ＨＲ番号　○○○○ 生徒番号　○○○○○○○ 氏名　　開陽　太郎	鹿児島県立開陽高等学校　通信制課程 担任　　○○　○○　　印

	科目名	選必	単位	レポート	進度 1	進度 2	進度 3	進度 4	進度 5	進度 6	前期試験	単位
				面接	S1	S2	S3	S4	S5	S6	後期試験	評定
前期	現代の国語前	必	2	残 6 残 2								
	地理総合前	必	2	残 6 残 2								
	数学Ⅰ②前	必	2	残 6 残 2								
	化学基礎①	選必	2	残 6 残 8								
	体育Ａ前	必	2	残 2 残 10								
	保健①	必	1	残 2 残 1	A	＊E						
	音楽Ⅰ①	選必	1	残 3 残 4								
	家庭総合①	必	2	残 6 残 4								
	総合Ｃ前	必	1	終了 終了	B 4 / 28 2	C						
後期	言語文化後	必	2	残 6 残 2								

「残６」・・・ レポート又は面接時数の残り枚数・時間
「終了」・・・ レポート又は面接時数が終了したこと表します。
上段がレポート，**下段**が面接の進み具合を表します。

科目名のあとについている数字は・・・・
『①』＝科目内容の前半部分　『前』＝前期開設科目
『②』＝科目内容の後半部分　『後』＝後期開設科目
１年を通して開設し，完結する科目は，①・②で前半・後半の内容を区別します。前後期とも同じ科目を開設している科目は，前・後で開設時期を区別します。

レポートの評価です。ＡＢＣＤは**「合格」**，＊Ｅは「再提出」ですので，各教科の指示に従ってください。

『必』は「必履修科目」，『選必』は「選択必履修科目」です。

４/２８に２時間面接を受けたことを表します。

今までの特活時数の合計です。卒業条件として**３０時間**必要

教科外通知事項

既修得単位数	49 単位	出席日数	1 日	特活時数本年度	2 時間	特活時数合計	26 時間

<通信欄>

1　受講科目を確認しましょう。この表には本年度分，全ての受講科目が印刷されています。
2　右上の印刷日付を確認してください。この日までにコンピューター入力がなされている分しか出ません。日付より前の日にレポートを送っていて，仮にその添削等が済んでいても，評価のコンピューター入力がなされていないと出てこない場合があります。また，日曜日にスクーリングがあって，月曜日や火曜日にあたる日付だと，面接時数の入力もまだなされていない場合もあります。多少の時間のずれが出る可能性があります。
3　下の方に印刷されている「教科外通知事項」の中の「特活時数本年度」は本年度分，「特活時数合計」は今までの合計です。「特活時数合計」が３０時間以上でないと卒業できません。
4　レポートがすでに返却されて手元にあるのに，「学習状況通知」では印刷されていない，面接を受けたはずなのに，面接の時数が入っていない等の疑問点は担任に問い合わせてください。

§９　通信制課程で学ぶ生徒への教育費助成等

１　教科書・学習書

通信制課程への修学を促進することを目的として，教科書・学習書を有職の生徒に無償で給与する制度があります。有職とは，**「定職に就いている者（自家営業を含む。）及び１年間９０日以上のパート又は，アルバイトの職に就いている者」**となっています。有職の生徒以外でも，**求職中の者，疾病等その他やむを得ない理由があり職に就くことができない者**については，無償給与の対象になります。

これらは，「通信制高等学校教科書・学習書給与申請書」（以下「無償給与申請書」という。）に有職又は疾病等により職に就くことができない証明書等を添えて申請し，承認されると無償となります。

無償給与の対象となるのは，卒業を目的として在学し，次のような条件を満たした生徒です。

（１）　新入生

２科目以上の教科書・学習書を購入する生徒で，**「無償給与申請書」に証明書等**を添付して申請し，承認されると無償になります。

（２）　定時制課程又は通信制課程から転・編入してきた生徒（県外を含む。）

①　前籍校の在籍も含めて，２年目の生徒

前籍校で**１４単位以上**を修得し，令和８年度に**２科目以上の教科書・学習書を購入**する生徒で，**「無償給与申請書」に証明書等**を添付して申請し，承認されると無償になります。

②　前籍校の在籍を含めて，３年目以上の生徒

２８単位以上を修得し，令和８年度に**２科目以上の教科書・学習書を購入**する生徒で，**「無償給与申請書」に証明書等**を添付して申請し，承認されると無償になります。

（３）　全日制課程から転・編入してきた生徒（県外を含む。）

２科目以上の教科書・学習書を購入する生徒で，**「無償給与申請書」に証明書等**を添付して申請し，承認されると無償になります。

（４）　在校生

入学後**２年目の生徒は１４単位以上**，入学後**３年目以降の生徒は２８単位以上**修得済みで**２科目以上の教科書・学習書を購入**する場合，**「無償給与申請書」に証明書等**を添付して申請し，承認されると無償になります。ただし，同一科目一回限りです。

＊無償給与の申請期限

（前期入学生・在校生）　令和８年　８月３１日（月）※消印有効

（後期入学生）　令和８年１０月３０日（金）※消印有効

やむをえず申請期限までに提出できない場合は，事前に事務室へ連絡してください。

２　修学資金・奨学金等について

（１）　高校在学生：修学資金，奨学金，その他（資金貸付）

高等学校定時制課程及び通信制課程修学資金	
出願資格	①　在学生で，経常的収入を得ることができる**職業に就いている生徒** ＊　生徒が単身独立者の場合は年間所得２７９万円以下 ②　日本学生支援機構の学資又は県育英財団の**奨学金の貸与を受けていない生徒** ③　**４年以内で卒業する見込みのある生徒** ④　**年間１８単位以上履修している生徒**
募集時期	①　一次申請　…　５月初旬　　②　二次申請　…　９月初旬
提出書類	①　申請書　　②　就職証明書　　③　所得額証明書　　④　その他
貸与額	○　月額　１４,０００円
その他	①　貸与は１年限りで，希望するときは毎年申請する必要がある。 ②　卒業すれば返還は免除されるが，退学したときは全額返還しなければならない。 ③　就労が条件であるため，毎月勤務先からの就労証明書を提出する必要がある。

※　貸与を希望される生徒は事務室に連絡してください。

鹿児島県育英財団奨学金		その他
出願資格	○　在学生	○　**生活福祉資金貸付：教育支援資金** ［鹿児島県社会福祉協議会］ ○　**母子父子寡婦福祉資金貸付：修学** ［鹿児島県子ども福祉課］ ＊　詳細は，社会福祉協議会や子ども福祉課にお問い合わせください。
募集時期	○　４月中旬	
提出書類	①　貸与申請書　　②　所得額証明書 ③　その他	
貸与額	①　自宅の場合　　月額　１８,０００円 ②　自宅外の場合　　月額　２３,０００円	
貸与機関	○　高校在学中（最長４年間）	

（２）　大学等予約奨学生（高校卒業後に大学･短大･専門学校等への進学を希望している生徒）

日本学生支援機構（ＪＡＳＳＯ）奨学金		鹿児島県育英財団奨学金	
給付奨学金	（住民税非課税世帯等）	**入学時奨学金奨学生**	返還義務あり
貸与奨学金	**第一種奨学金**：無利子 ＊　返還支援あり（県育英財団）		
	第二種奨学金：有利子	**奨学金返還支援候補者**	**人材育成枠** ＊第一種奨学金返還支援
	入学時特別増額貸与奨学金	**交通遺児等奨学生**	＊　高校在学募集もある
それぞれの応募基準・応募期間・給付額・貸与額等の詳細は，『**開陽通信**』に掲載・同封します。			

３　勤労学生の所得額控除

通信制課程の生徒は，所得税法による勤労学生控除の対象になります。
該当者は，勤務先の給与担当者へ相談してください。

４　郵便料の軽減

郵便法及び同規則の定めによって，通信教育のレポート，質問書その他の教材は，第４種郵便物の取り扱いを受けるので１００ｇまで１５円，１００ｇを超え１ｋｇまで１００ｇ増す毎に１０円増となります（Ｐ３７参照）。

５　旅客運賃の割引

（１）　ＪＲ利用の場合

スクーリング，試験及び行事等で，本校へ登校するときに，割引普通回数乗車券（５割引）を購入できます。

（２）　船舶（離島航路）利用の場合

甑島，種子島，屋久島及び奄美群島等の航路は，割引の適用があります。
なお，運賃の割引を適用していない交通機関もありますので，各自で確かめてください。

（３）　旅行の場合

旅行の目的が「規則の範囲内」に限り，運賃割引を受けることができます。
（例）休暇，所用による帰省，就職又は進学のための受験，傷病の治療，保護者の旅行への随行等

§１０　生　活　の　心　得

一人一人が，人間として，また社会の一員として，自分の行動に責任を持ってください。
行動の指針として大きな目標を三つ掲げます。

①　人に迷惑をかけない　‥‥‥　社会の一員としての自覚を
　授業中や集会時には携帯電話・スマートフォン等の電源を切る，駐車マナーを守る，ゴミや吸い殻のポイ捨てはしないなど，人に迷惑をかけないことは，社会の一員として生活する上での最低限のルールです。
②　自主的に行動する　　‥‥‥　ボランティアの精神で
　例えば，教室をきれいにする行動一つをとってみても，いいことだとわかっていながら，取りかかれないことがあります。誰かに指示される前に，自分の判断で自主的に取りかかるとすがすがしい気持ちになります。
③　思いやりの心をもつ　‥‥‥　人権尊重の考えを大切に
　思いやりの心をもち，互いに相手を認め合い，励まし合う人間関係をつくり，いじめや，差別のない学校生活にしましょう。

１　学校生活について
（１）　学校施設や備品等は大切に扱い，公共物を故意に汚損・破損しない。校内の施設や器具等を破損したら，必ず届ける。
（２）　校舎内外の美化に努め，授業終了後は，教室の清掃・整理整頓をする。空きカンや弁当ガラ等のゴミは各人の責任で持ち帰る。タンやツバのはき捨てはしない。
（３）　校内でのポスターやビラの掲示，文書の配布，物品の販売・斡旋については，必ず許可を受ける。
（４）　出校日以外の日に，教室・校具を使用したいときは，あらかじめ許可を受ける。

２　服装について
（１）　学習活動にふさわしい服装で登校し，学習の場，公共の場であることを自覚して，時と場所に応じた身だしなみに気をつける。極端にラフな服装，華美な装い，肌の露出等には注意する。靴（ピンヒールは禁止）以外の履物は使用しない。
（２）　教室・職員室など室内では脱帽し，サングラスやコート，マフラー等は着用しない。ただし，事情のある者は，授業担当者に届け出る。

３　所持品について
（１）　所持品の管理は，各自が責任をもって行い，不必要な金品を持ってこない。紛失物，拾得物は，速やかに職員室に届ける。
（２）　貴重品は持参せず，盗難の未然防止に努める。

４　スクーリング及び学校行事について
（１）　スクーリング中や集会時は，担当教師の指示に従い，他の者の迷惑にならないように心がける。
（２）　スクーリング中や集会時は自分勝手に出入りしない。また，私語等をつつしみ，飲食等は禁止する。
（３）　スクーリングには遅刻しない。１０分以上の遅刻については出席を認めない。
（４）　携帯電話・スマートフォン等の使用はマナーを守り，スクーリング中や集会時では電源を切るかマナーモードにする。

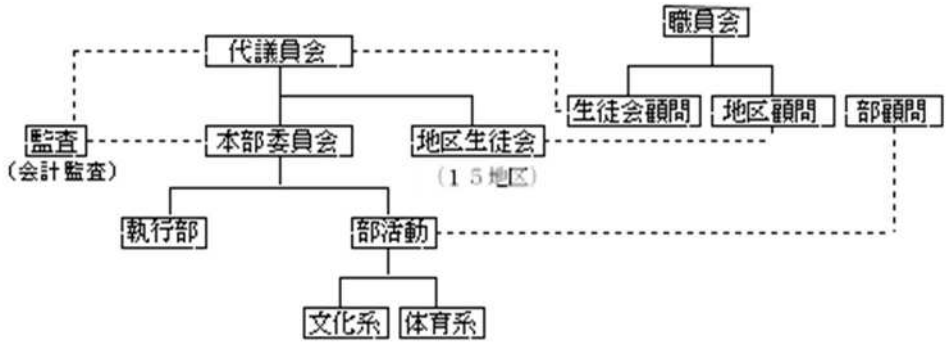
５　喫煙について
（１）　未成年の喫煙は法律で禁止されている。学校内外を問わず絶対吸ってはならない。
（２）　成人においても，学校敷地内での喫煙は禁止する。

６　通学・交通マナーについて
（１）　スクーリング等に出校する場合は，徒歩・自転車又は公共の交通機関を利用する。
（２）　学校からの距離が遠いことや，身体的な理由又は仕事の都合等で，自動車や単車での通学を希望する場合は，「通学方法届（兼通学願）」を提出し，許可を受ける。
（３）　身体的理由で，校内駐車を必要とする人は，特別許可の申請をし，車内に特別許可証を提示する。
（４）　校内での自動車・単車の乗り回し・空ぶかし等は厳禁する。
（５）　自転車・単車・自動車は，それぞれ指示された場所に駐車する。路上等の違法駐車はしない。
（６）　自転車通学者は，自転車損害賠償保険へ加入し，乗車用ヘルメットを着用するよう努めること。
（７）　交通規則・マナーをしっかり守り，事故防止に心がける。

７　その他
（１）　生徒証明書（ＩＤカード）は，各自携帯する。
（２）　校外で起こった生徒の事故は，速やかに学校に連絡する。

§１１　生　　徒　　会

１　生徒会機構



２　生徒会会則

第一章　総　　則

第１条　本会は，鹿児島県立開陽高等学校通信制生徒会と称し，通信制生徒全員で組織する。
第２条　本会は，会員相互の友情と協力に基づき，学校生活における活動を通じ，自律の精神と民主的に行動する態度を養い，夢・実現することを目的とする。

第二章　機　　関

第３条　本会に，次の機関を置く。
(1)　代議員会
(2)　本部委員会
(3)　地区生徒会
(4)　監査委員会
(5)　執行部会
(6)　選挙管理委員会
第４条　本会のすべての会合は，構成員の過半数の出席で成立し，議事は，出席者の過半数の賛成をもって決定する。
第５条　本会の決議事項は，職員会の承認をうけるものとする。

第三章　役　　員

第６条　本会の機関に次の役員を置く。
(1)　生徒会長　１名　　(2)　副 会 長　２名（体育・文化）
(3)　書　　記　１名　　(4)　会　　計　１名
(5)　執行委員　２名　　(6)　議　　長　１名
(7)　副 議 長　１名　　(8)　監査委員　２名
(9)　自治連役員（執行部兼務）
２　前項（5）の執行委員（２名）は，さらに若干名を加えることができる。
３　必要に応じて，卒業生で要請を受諾した者に対し，生徒会アドバイザーに委嘱することができる。
第７条　第６条に規定する役員および本部委員は，代議員会において承認決定する。
第８条　第６条に規定する役員の任期は，３月から翌年の２月までの１年とする。ただし，再任を妨げない。
２　年度の途中で役員の変更があった場合は，後任者の任期は，前任者の任期期間とする。
３　後任者の決定するまでは，１年をこえて在任することができる。

第四章　代 議 員 会

第９条　代議員は，新年度の会員の員数によって地区ごとに選出する。
　２　前項による代議員の数は，会員が２０名までは１名とし，５０名までは２名とし，会員が５０人ごとに１名を加えるものとする。
　３　代議員の数は，１地区１５名を上限とする。
第 10 条　代議員会は，代議員をもって構成し，本会の最高議決機関とする。
　２　代議員会は，毎年４月に議長が招集するものとする。
　３　代議員の過半数が必要と認めたとき，本部委員会が必要と認めたとき，もしくは，地区委員長の３分の１以上の要求があった場合は，臨時に代議員会を開くことができる。
第 11 条　代議員会は，次の事項を協議，決定する。
　(1)　会則の制定および改正
　(2)　予算の決定および決算の承認
　(3)　その他，本会の運営に関する重要事項
第 12 条　議長は，代議員会を招集・司会し，副議長は，議長不在の場合にその任務を代行し，書記は，会議録の作成および保管にあたる。
第 13 条　本会の会員は，代議員会に出席し，意見を述べることができる。ただし，議決には参加することができない。
第 14 条　生徒会執行部は，代議員会に出席して審議に参加しなければならない。ただし，議決には参加することができない。

第五章　本部委員会

第 15 条　本部委員会は，執行部と地区役員をもって構成する。
第 16 条　本部委員会は，次の事項を行う。
　(1)　代議員会の決議事項の執行
　(2)　代議員会の審議事項の提案
　(3)　部編成および部相互の連絡調整
　(4)　その他，生徒会の活動に必要な事項
　(5)　代議員会後に議決が必要な事項が生じた場合，代議員会に代わり議決することができる。ただし，次の代議員会で承認を受けるものとする
第 17 条　本部委員会は，前期１回以上，後期１回以上開く。地区委員長の３分の１以上の要求があった場合，もしくは執行部会が必要を認めたときは，臨時に本部委員会を開くことができる。

第六章　執 行 部 会

第 18 条　執行部会は，執行部(第６条　１　(1)～(5))で構成する。
　ただし，必要に応じて正副議長も加えることができる。
第 19 条　執行部会は，次の事項を行う。
　(1)　代議員会の決議事項の執行
　(2)　本部委員会の審議事項についての企画，立案
　(3)　生徒会の活動に必要な事項についての企画，立案
　(4)　自治連に関する事項についての企画，立案，執行
第 20 条　執行部会は，会長が必要と認める時に開くことができる。

第七章　部　活　動

第 21 条　本会には，部活動として文化部と体育部を置く。詳細については別に定める。

第八章　地区生徒会

第 22 条　学校が定める区分によって，地区生徒会を置く。
第 23 条　地区生徒会は，所属地区会員全員で構成し，必要に応じて地区委員長がこれを招集し，司会する。
第 24 条　地区生徒会において，次の事項を審議，決定する。
(1)　地区役員の選出
(2)　代議員の選出
(3)　生徒会および地区生徒会の活動に必要な事項
第 25 条　地区生徒会は，地区ごとに地区委員長(本部委員を兼ねる。)･副委員長･書記･会計を置く。ただし，地区の実情に応じてこれ以外の役員を置くことができる。
２　地区委員長は，地区の代表として，地区の運営に必要な業務を行う。
３　生徒会長は，年度の必要に応じて卒業生で要請を受諾した者に対し，地区生徒会アドバイザーに委嘱することができる。

第九章　監査委員会

第 26 条　監査委員会は，監査委員で構成し，本会の予算の執行を監査し，代議員会に監査報告を行う。

第十章　会　　計

第 27 条　本会の経費は，会員の納入する会費と寄付金等をもって，これに当てる。
第 28 条　会費は，以下のとおりとする。
前期入学生・在校生は年額３，１００円
後期入学生は１，５５０円
第 29 条　本会の会員は，毎年，受講登録に際して前条の会費を納入しなければならない。
第 30 条　会員が会費の納入を怠った場合は，会員の権利を停止することができる。
第 31 条　本会の会計年度は，４月１日に始まり，翌年３月３１日に終わる。

第十一章　慶　弔　費

第 32 条　職員および生徒が死亡した場合，５,０００円を支出することができる。

第十二章　選挙管理委員会

第 33 条　選挙管理委員会は，次年度の本部執行部役員の選出に必要な業務を行う。委員会は，現執行部役員を含め，６名程度で構成する。

附　　則

この会則は，平成 12 年４月１日から適用する。
（一部改正）平成 20 年４月１日から適用する。
（一部改正）平成 21 年４月１日から適用する。
（一部改正）平成 25 年４月１日から適用する。
（一部改正）平成 26 年４月１日から適用する。

§１２　ＨＰ・ブログ・学校安心メールでの緊急情報・自然災害（台風・大雪・洪水）等の連絡方法

開陽高校通信制では，学校紹介その他の情報発信のため，ホームページとブログを開設しています。ホームページでは，学校紹介や入学希望者に向けて募集要項・資料請求，学校からのお知らせなどを，ブログではスクーリング日程，レポート提出期限，行事報告などを掲載していますので，是非ご活用ください（ホームページからもブログにアクセスできます）。また，学校安心メールを登録されますと，外出先からでも学校からの緊急連絡を受け取ることができます。

＜通信制ＨＰ＞　http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/kaiyo/tsushin/

通信制ブログにアクセスできます。

本校事務室の情報や手続きの方法が紹介されています。

本校の自学自習支援サイトへアクセスできます。（調整中）

緊急連絡がある時は，「新着情報」に表示されます。

HP 二次元コード

＜通信制ブログ＞　http://kaiyo-tsushin.edu.pref.kagoshima.jp/

学校行事報告や更新内容が掲載されます。
緊急連絡がある時は，HP 同様，ブログにも記事が表示されます。

在校生向けに，レポートの提出期限やスクーリング日程を掲載しています。協力校スクーリング日の変更も確認できます。

ブログ二次元コード

令和●年●月●日

生徒・保護者の皆様へ

各学期（前期・後期）『学校安心メールの登録・変更』のお知らせを配布します。

「学校安心メール」登録のお願いについて

開陽高校通信制課程では，「学校安心メール」を活用し，台風や大雪等に伴うスクーリングや試験の中止等の緊急連絡を行っております。外出先でも，学校からの緊急連絡や情報を受け取ることができます。つきましては，生徒・保護者の皆様は，裏面の「登録のしかた」に従い，登録をお願いします。

なお，すでに登録している在校生（保護者の皆様も含む）も，新しいクラスでの再登録（更新）が必要です。昨年度の登録内容はすべて３月末で消去されるため，**再登録（更新）を行わない場合，本校からの連絡が届かなくなりますのでご注意ください。**下段の手順で登録変更をお願いいたします。

記

（運用方法・注意事項等）

1　登録は無料です。ただし，メール受信には通常のメール受信料がかかります。
2　生徒の皆様は，クラスと地区も必ず登録してください。地区限定の緊急連絡もあります。
3　保護者の皆様は，生徒名とクラス，そして地区まで登録してください。
4　登録された個人情報を，配信以外に使用することはありません。
5　メールアドレスを変更された場合は，再登録してください。
6　**新年度に年度更新を行わないとメール受信はできません。**
7　緊急連絡は，学校ＨＰや公式ブログにも掲載します。

学校安心メール（イメージ）

試験の中止のお知らせ

台風〇号の直撃のおそれがあるため，本日（〇月〇日）のスクーリングは本校･協力校とも全て中止とします。その分の措置については，改めて連絡します。

〇〇地区の皆さんへ

大雪の影響で，明日（〇月〇日）の〇〇地区のＡ日程試験は中止とします。その分の措置については，改めて連絡します。

（登録変更）

【メールアドレスでご登録の方】

メールの下部の【◎運営のしくみ，登録内容変更・配信停止・退会の方はこちら】を押して表示される画面に従い，現在の正しい【クラス】【地区】，保護者の方は【生徒名】までの登録変更をお願いいたします。

【あんしんメールアプリでご登録の方】

あんしんメールアプリでご登録されている方は，【鹿児島県立開陽高等学校通信制】を押して，画面上部の【登録内容変更または退会】より【登録内容変更】で現在の正しい内容で登録変更をお願いいたします。

（その他）

「登録」「登録変更」がスムーズに出来ない場合は（株）テクノミックス フリーコール
０８００－６００－１２３０ にお尋ねください。

開陽高校通信制課程安心メール 登録のしかた

◆「あんしんメール」ご登録方法は、**アプリ**または**メールアドレス**のどちらでも登録できます◆

「あんしんメール」アプリでの登録

① 「あんしんメールアプリ」をインストール（無料）
② 「あんしんメールアプリ」を起動し、「新規登録」をクリック
③ グループ画面の**「追加（画面右上）」**をクリック
④ 下記の登録用メールアドレスの**QRコードの読み取り**または
メールアドレスを直接入力し、「グループに登録」をクリック
⑤ **必要事項入力後「登録」をクリックし、**グループ画面に登録した学校名が表示されると登録完了

❶【iPhone版】　【Android版】

QRコード	「開陽高校通信制課程安心メール」登録用メールアドレス ※ アプリインストールによる個人情報の収集等は一切ありません
	kaitu@ansin-anzen.jp　← 直接入力の場合 必ず半角英数字入力

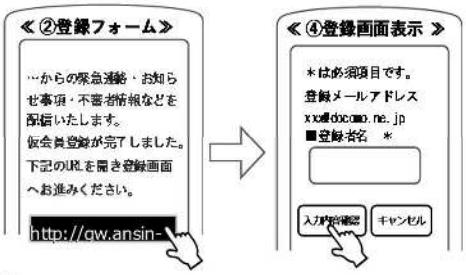
❶ 右上記のQRコードでアプリがインストールできない場合
【 iPhone版 】
… 「App Store」
【 Android版】
… 「Playストア」
から「あんしんメール」を検索ください

メールアドレスでの登録

① **下記の登録用メールアドレス（QRコードまたは直接入力）へ空メールを送信**

QRコード	「開陽高校通信制課程安心メール」登録用メールアドレス ※ スマートフォンで空メールを送信する際は、件名に任意の一文字(「あ」等)を入れて送信して下さい
	kaitu@ansin-anzen.jp　← 直接入力の場合 必ず半角英数字入力

② 返信メール本文に記載の**ＵＲＬをクリック**
③ **「本登録画面へ」**をクリック
④ 表示された**登録画面の項目を入力**
⑤ **「入力内容確認」**をクリック
⑥ 登録内容を確認し、**「登録」**をクリック
⑦ **「登録完了」画面が表示されると登録完了**



【ドメイン指定受信設定】

【ご注意】空メールを送っても返信が来ない場合

ドメイン（anzen.jp）指定受信の設定をお願いします
※メールアドレス指定ではありません
※ 設定ができない場合、この用紙をお持ちになり
各携帯電話ショップにて設定をお願いして下さい

● 株式会社テクノミックス(http://tmix.co.jp/) ●
登録方法のお問い合わせは、
①学校名　②お名前　③電話番号
④お問い合わせ内容　をご記入の上、
株式会社テクノミックス qa@tmix.co.jp まで
メールにてお問い合わせください。

スクーリング参加・学習活動等の記録

1　スクーリング・学校行事等への参加の記録

ス　ク　ー　リ　ン　グ　・　学　校　行　事　・　生　徒　会　行　事　等							
月	日	内　　容	面接時数 特活時数等	月	日	内　　容	面接時数 特活時数等

※　その都度記録し，スクーリング等への参加の計画化と学習活動の日常化に努める。

２　時間割計画表

☆自分の時間割を作りましょう！

（１）　時間割は，本校の場合「開陽通信」に掲載・地区の場合「各地区毎」に配布されます。

（２）　「§４　行事計画」でスクーリング種類，曜日と回数を確認

種類：日曜・月曜・水曜Ｓ（本校），地区Ｓ（全協力校），島しょ地区Ｓ（島しょ地区協力校）

（３）　面接科目（例:物理基礎や音楽Ⅰなど）と教室名（例:201 教室や化学室など）を書いておくと便利です。

日／時限	月　　日（　　）
１・２	
３・４	
５・６	

日／時限	月　　日（　　）
１・２	
３・４	
５・６	

日／時限	月　　日（　　）
１・２	
３・４	
５・６	

日／時限	月　　日（　　）
１・２	
３・４	
５・６	

日／時限	月　　日（　　）
１・２	
３・４	
５・６	

日／時限	月　　日（　　）
１・２	
３・４	
５・６	

日／時限	月　　日（　　）
１・２	
３・４	
５・６	

日／時限	月　　日（　　）
１・２	
３・４	
５・６	

日／時限	月　　日（　　）
１・２	
３・４	
５・６	

日／時限	月　　日（　　）
１・２	
３・４	
５・６	

日／時限	月　　日（　　）
１・２	
３・４	
５・６	

日／時限	月　　日（　　）
１・２	
３・４	
５・６	

☆自分の時間割を作りましょう！

（1） 時間割は，本校の場合「開陽通信」に掲載・地区の場合「各地区毎」に配布されます。

（2） 「§４ 行事計画」でスクーリング種類，曜日と回数を確認

種類：日曜・月曜・水曜Ｓ（本校），地区Ｓ（全協力校），島しょ地区Ｓ（島しょ地区協力校）

(3) 面接科目(例:物理基礎や音楽Ⅰなど)と教室名（例:201 教室や化学室など）を書いておくと便利です。

日 / 時限	月　日（　）
1・2	
3・4	
5・6	

日 / 時限	月　日（　）
1・2	
3・4	
5・6	

日 / 時限	月　日（　）
1・2	
3・4	
5・6	

日 / 時限	月　日（　）
1・2	
3・4	
5・6	

日 / 時限	月　日（　）
1・2	
3・4	
5・6	

日 / 時限	月　日（　）
1・2	
3・4	
5・6	

日 / 時限	月　日（　）
1・2	
3・4	
5・6	

日 / 時限	月　日（　）
1・2	
3・4	
5・6	

日 / 時限	月　日（　）
1・2	
3・4	
5・6	

日 / 時限	月　日（　）
1・2	
3・4	
5・6	

日 / 時限	月　日（　）
1・2	
3・4	
5・6	

日 / 時限	月　日（　）
1・2	
3・4	
5・6	

事務関係の手続き

（各種届・願・証明書等の交付）

下記申込一覧表を参照のうえ，本書末尾に添付してある用紙（様式１～６）を用いて，速やかに手続きをしてください。証明書等は，申請してもすぐには交付できないので，余裕をもって申請してください。特に調査書・推薦書は１～２週間かかりますので，注意してください。

◆申請は全て各担任宛です。できれば担任と内容等を事前に確認することをお勧めします！

◆黒のボールペン又は万年筆で記入してください（鉛筆不可）。

事象（種類）		申込方法 提出書類等	申込方法 郵送希望の場合	提出期限
証明	・進学・勤め先等へ提出する。 在学証明書・単位修得見込証明書 卒業見込証明書・調査書・推薦書 成績証明書・卒業証明書 単位修得証明書	証明書交付申請書注１（様式１）	返信用封筒（宛名明記，110円切手貼付）	
変更	・住所や氏名を変更した。	住所・氏名変更届（様式２）		
割引	・JR・船舶等の割引回数券を購入する。	学生割引証交付願（様式３）	返信用封筒（宛名明記，110円切手貼付）	
学籍異動	・病気等で長期間，学校を休む。	休学願（様式４）		
	・休学中の生徒が復学する。	復学願（様式４）		
	・事情があって，退学する。	退学願（様式４）		
	・他の学校へ転学をする。	転学願（様式４）		
	・本校の全日・定時制へ転籍をする。	転籍願注２（様式４）		
	・留学をする。	留学願注３		
	・普通科（衛生看護科）へ転科をする。	転科願注４（様式４）		
試験	・登録地区以外で試験を受ける。	登録地区外受験申請書（様式５）		（前期）７月31日 （後期）12月28日
単位増加	・高認（大検）合格の単位認定をする。	「高認（大検）合格科目」単位認定願注３		（前期）８月末日 （後期）１月末日
	・技能審査合格の単位認定をする。	「技能審査の成果」単位認定願注３		（前期）８月末日 （後期）１月末日
集会	・生徒会等でキャンプを行う。	集会届注３		
部活	・部活動への入部をする。	入部届（個人登録）注５（様式６）		（前期）５月末日 （後期）10月末日

注１　卒業後は，証明書１通につき手数料が４００円必要です。郵送希望の場合は返信用封筒に宛名明記，切手貼付のうえ，手数料分の定額小為替（何も記入しないこと。）を添えて申し込んでください。返信用切手代については右表で確認してください。なお，証明書の枚数によっては切手代が変わることがあります。事務室に問い合わせてください。（099-263-3733）

注２　前期（４月）・後期（１０月）の２回，転籍可能。
詳細は担任と確認してください。

注３　担任へ連絡し用紙をもらってください。

注４　技能連携校を退学すると，転科手続きが必要です。（衛生看護科→普通科へ）

注５　年度更新のため，毎年提出します。

返信用切手代		封筒
在学証明書	１１０円	定形（長３）
その他の証明書	１４０円	定形外（角２）

【様式１】　　No.＿＿＿＿＿＿

在

証明書交付申請書

申請日　　年　　月　　日

ふりがな				生年月日	
氏　　名				□　昭和　　□　平成 年　　月　　日生	
学籍番号		ＨＲ番号		担 任 名	
現 住 所	〒　　―				
連 絡 先	（電話番号）				

種　　類	必要枚数	種　　類	必要枚数	種　　類	必要枚数
在　学　証　明　書		調　　査　　書		卒　業　証　明　書	
単位修得見込証明書		成　績　証　明　書		単 位 修 得 証 明 書	
卒 業 見 込 証 明 書		推　　薦　　書			

交付申請の理由	
証明書の提出先	

※　郵送希望の場合は、返信用封筒及び本人確認ができるもの（生徒証明書・運転免許証・マイナンバーカード表面等の写し）を同封してください。なお、返信用封筒には宛先・宛名を明記し、切手を貼付すること。
※　第三者が申請する場合は、本人が作成した委任状が必要です。（裏面）

返信用切手	封 筒
在学証明書　110 円	定形　（長３）
その他証明書　140 円～	定形外（角２）

※　学校処理欄
生徒証明書　・　運転免許証　・　マイナンバーカード表面
その他（　　）

----------　キリトリ線　----------

【様式１】　　No.＿＿＿＿＿＿

在

証明書交付申請書

申請日　　年　　月　　日

ふりがな				生年月日	
氏　　名				□　昭和　　□　平成 年　　月　　日生	
学籍番号		ＨＲ番号		担 任 名	
現 住 所	〒　　―				
連 絡 先	（電話番号）				

種　　類	必要枚数	種　　類	必要枚数	種　　類	必要枚数
在　学　証　明　書		調　　査　　書		卒　業　証　明　書	
単位修得見込証明書		成　績　証　明　書		単 位 修 得 証 明 書	
卒 業 見 込 証 明 書		推　　薦　　書			

交付申請の理由	
証明書の提出先	

※　郵送希望の場合は、返信用封筒及び本人確認ができるもの（生徒証明書・運転免許証・マイナンバーカード表面等の写し）を同封してください。なお、返信用封筒には宛先・宛名を明記し、切手を貼付すること。
※　第三者が申請する場合は、本人が作成した委任状が必要です。（裏面）

返信用切手	封 筒
在学証明書　110 円	定形　（長３）
その他証明書　140 円～	定形外（角２）

※　学校処理欄
生徒証明書　・　運転免許証　・　マイナンバーカード表面
その他（　　）

《第三者が申請する場合は，本人が作成した委任状が必要です。》

委　　任　　状

鹿児島県立開陽高等学校長　殿　　年　　月　　日

委任者　住　所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　印

連絡先＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

私に係る証明書の発行申請及び受領を下記の者に委任します。

記

代理人　住　所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　印

連絡先＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

委任者との関係（委任者から見て）＿＿＿＿＿＿＿＿

※　本人及び代理人が確認できるもの（生徒証明書・運転免許証・ﾏｲﾅﾝﾊﾞｰｶｰﾄﾞ（表面）等の写し）をお持ちください。郵送の場合は，写しを同封してください。

----------　キリトリ線　----------

《第三者が申請する場合は，本人が作成した委任状が必要です。》

委　　任　　状

鹿児島県立開陽高等学校長　殿　　年　　月　　日

委任者　住　所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　印

連絡先＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

私に係る証明書の発行申請及び受領を下記の者に委任します。

記

代理人　住　所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　印

連絡先＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

委任者との関係（委任者から見て）＿＿＿＿＿＿＿＿

※　本人及び代理人が確認できるもの（生徒証明書・運転免許証・ﾏｲﾅﾝﾊﾞｰｶｰﾄﾞ（表面）等の写し）をお持ちください。郵送の場合は，写しを同封してください。

（様式２）

Ｎｏ．

住 所 ・ 氏 名 変 更 届

鹿児島県立開陽高等学校長　殿

次の通り住所・氏名の変更がありますのでお届けいたします。

令和　　年　　月　　日

ホームルーム名＿＿＿＿＿＿　担任名＿＿＿＿＿＿　学籍番号＿＿＿＿＿＿

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　生年月日　　年　　月　　日

○住所変更日　　令和　　年　　月　　日

新　住　所	〒　　－　　電話番号（　　）
旧　住　所	〒　　－　　電話番号（　　）

○氏名変更日　　令和　　年　　月　　日

フリガナ 新　氏　名		フリガナ 旧　氏　名	

（注意）担任へ提出すること。

キリトリ線

（様式２）

Ｎｏ．

住 所 ・ 氏 名 変 更 届

鹿児島県立開陽高等学校長　殿

次の通り住所・氏名の変更がありますのでお届けいたします。

令和　　年　　月　　日

ホームルーム名＿＿＿＿＿＿　担任名＿＿＿＿＿＿　学籍番号＿＿＿＿＿＿

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　生年月日　　年　　月　　日

○住所変更日　　令和　　年　　月　　日

新　住　所	〒　　－　　電話番号（　　）
旧　住　所	〒　　－　　電話番号（　　）

○氏名変更日　　令和　　年　　月　　日

フリガナ 新　氏　名		フリガナ 旧　氏　名	

（注意）担任へ提出すること。

（様式３）

Ｎｏ．

学 生 割 引 証 交 付 願

鹿児島県立開陽高等学校長　殿

学生割引証を交付くださるようお願いします。

乗車船区間	駅から　　駅まで（　　経由）				
種類	回数券割引証　普通割引証　※該当のものを〇で囲みます。				
ＨＲ番号		担任名		学籍番号	
氏名				年齢	歳
現住所	〒　　電話番号（　　－　　－　　）				
保護者氏名	※生徒が未成年の場合は記入します。				
使用目的	ｽｸｰﾘﾝｸﾞ　学校行事　その他（　　）※該当のものを〇で囲みます。				
利用期間	年　月　日　～　年　月　日				

（注意）郵送希望の場合は，返信用の封筒及び本人確認ができるもの（生徒証明書・運転免許証・マイナンバーカード(表面)の写し）を同封してください。返信用封筒には宛名を明記し，切手を貼付すること。

※学校処理欄

確認	生徒証明書・運転免許証・マイナンバーカード(表面)・その他（　　）
番号	

キリトリ線

Ｎｏ．

学 生 割 引 証 交 付 願

鹿児島県立開陽高等学校長　殿

学生割引証を交付くださるようお願いします。

乗車船区間	駅から　　駅まで（　　経由）				
種類	回数券割引証　普通割引証　※該当のものを〇で囲みます。				
ＨＲ番号		担任名		学籍番号	
氏名				年齢	歳
現住所	〒　　電話番号（　　－　　－　　）				
保護者氏名	※生徒が未成年の場合は記入します。				
使用目的	ｽｸｰﾘﾝｸﾞ　学校行事　その他（　　）※該当のものを〇で囲みます。				
利用期間	年　月　日　～　年　月　日				

（注意）郵送希望の場合は，返信用の封筒及び本人確認ができるもの（生徒証明書・運転免許証・マイナンバーカード(表面)の写し）を同封してください。返信用封筒には宛名を明記し，切手を貼付すること。

※学校処理欄

確認	生徒証明書・運転免許証・マイナンバーカード(表面)・その他（　　）
番号	

（様式４）

受　付

校　長	教　頭	事務長	回　議

令和　　年　　月　　日

鹿児島県立開陽高等学校長　殿

普　通　科

通 信 制　　ＨＲ番号＿＿＿＿

衛生看護科

学籍番号 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

本　人氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

保護者氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

転学(転籍)・退　学
休　学・復　学
願

次の理由により＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿したいので，許可くださるようお願いします。

１　理　　由＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

２　休学の期間　　年　　月　　日から

　　年　　月　　日まで

３　転学・復学・退学希望年月日　　＿＿＿＿年　　月　　日

４　転学先及び所在地

　　学校名（課程名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

　　所在地＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

(担任副申)

担任氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

１　該当する事項を○で囲む。
２　転学（１．３．４）　休学（１．２）　復学・退学（１．３）のみ記入のこと。
３　病気の場合は医師の診断書を添えること。

（様式５）

登 録 地 区 外 受 験 申 請 書

都合により登録外の地区で受験を希望しますのでお届けいたします。

令和　　年　　月　　日

ＨＲ番号＿＿＿＿＿＿＿＿　担任名＿＿＿＿＿＿＿＿　学籍番号＿＿＿＿＿＿＿＿

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　電話番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

希望する受験地＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　登録している地区＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

該当試験　（前期Ａ　・　前期Ｂ　・　前期追試験　・　後期Ａ　・　後期Ｂ　・　後期追試験）

（該当の試験に〇印を付ける）

受験地変更の理由＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

※「登録地区外受験申請書」は，前期試験７月３１日までに，後期試験は１２月２８日までに学校(担任宛)に必着するように郵送すること。

キリトリ線

登 録 地 区 外 受 験 申 請 書

都合により登録外の地区で受験を希望しますのでお届けいたします。

令和　　年　　月　　日

ＨＲ番号＿＿＿＿＿＿＿＿　担任名＿＿＿＿＿＿＿＿　学籍番号＿＿＿＿＿＿＿＿

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　電話番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

希望する受験地＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　登録している地区＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

該当試験　（前期Ａ　・　前期Ｂ　・　前期追試験　・　後期Ａ　・　後期Ｂ　・　後期追試験）

（該当の試験に〇印を付ける）

受験地変更の理由＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

※「登録地区外受験申請書」は，前期試験７月３１日までに，後期試験は１２月２８日までに学校(担任宛)に必着するように郵送すること。

（様式６）

入部届（個人登録）

鹿児島県立開陽高等学校長　殿

令和　　年　　月　　日

以下のとおり入部を申請します。

部活動名	

ＨＲ番号		学籍番号		
ﾌﾘｶﾞﾅ		性　別	生年月日	年齢
氏　　名		男・女	年　　月　　日	
現住所	〒□□□－□□□□			電話番号 （　　） －
ﾌﾘｶﾞﾅ		電話番号	健康診断書	提出・未提出
保護者氏名		（　　） －		

※２０歳未満の場合，保護者欄の署名が必要です。

※健康診断書は，提出の有無を〇で囲んでください。

生徒会 受付年月日	令和　　年　　月　　日		
係	担　任	顧　問	保健指導

※手続き完了後，係が担任･顧問に複写を提出します。

交通アクセス

1　利用交通機関

【鹿児島交通バス】	「南高校前」バス停下車	徒歩	５分
	「谷山駅前」バス停下車	徒歩	２０分
【市営バス】	「谷山駅前」バス停下車	徒歩	２０分
【ＪＲ指宿枕崎線】	「谷　　山」駅下車	徒歩	１５分
	「慈 眼 寺」駅下車	徒歩	１５分
【市電】	「谷　　山」電停下車	徒歩	２５分

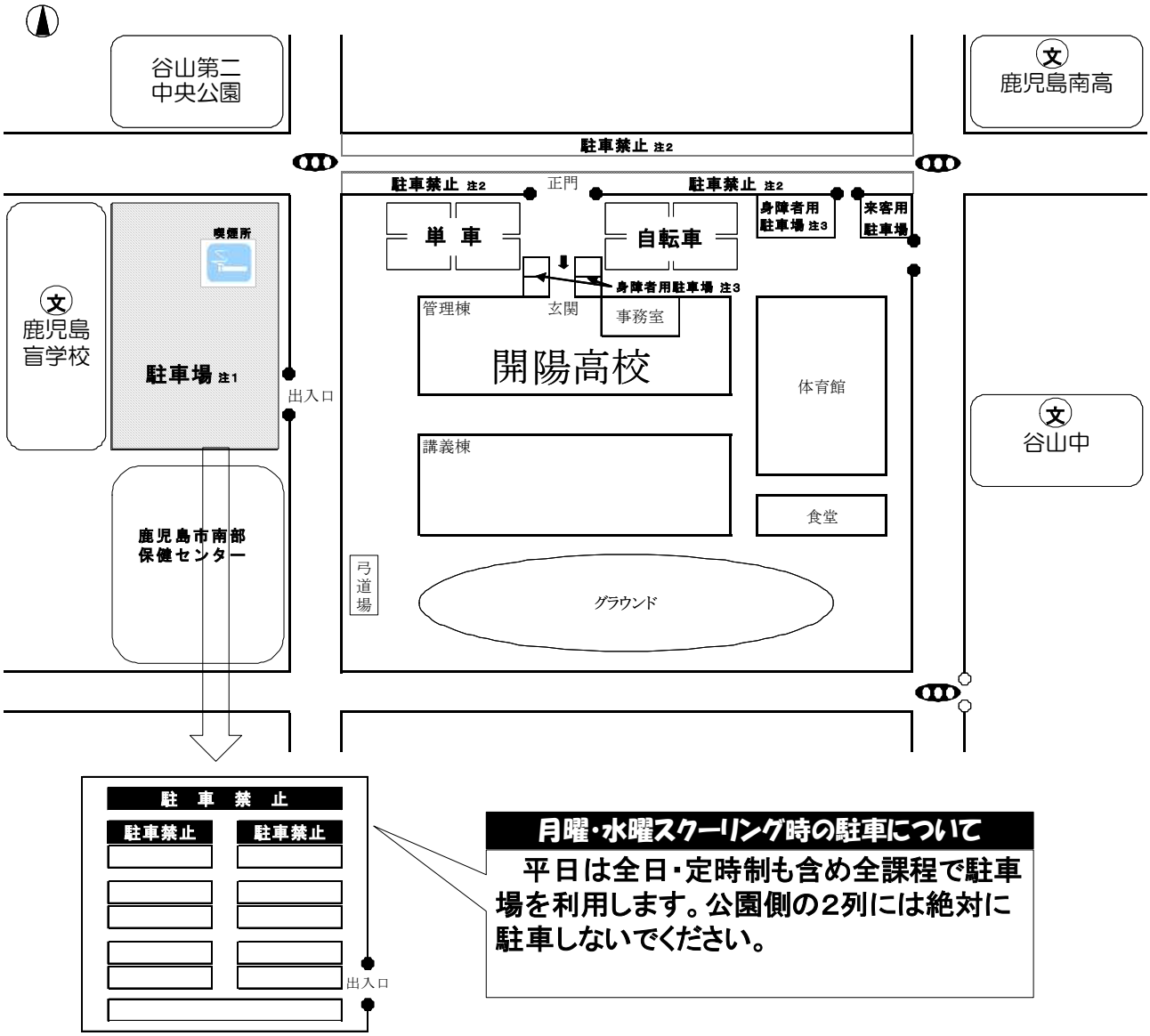
2　学校近辺地図

※本校駐車場は校舎より，少々離れています。
　通行には十分，注意してください。

駐　車　場

行事やスクーリング等で本校へ登校する時は，下記のとおり駐車してください。特に平日の使用については駐車場所に注意してください。

また，各協力校では場所が異なります。必ず最初に登校した時に確認してください。

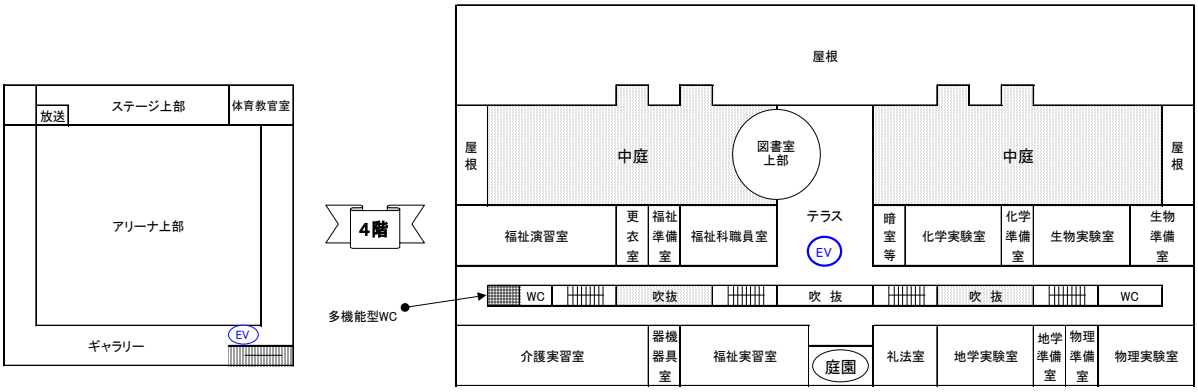


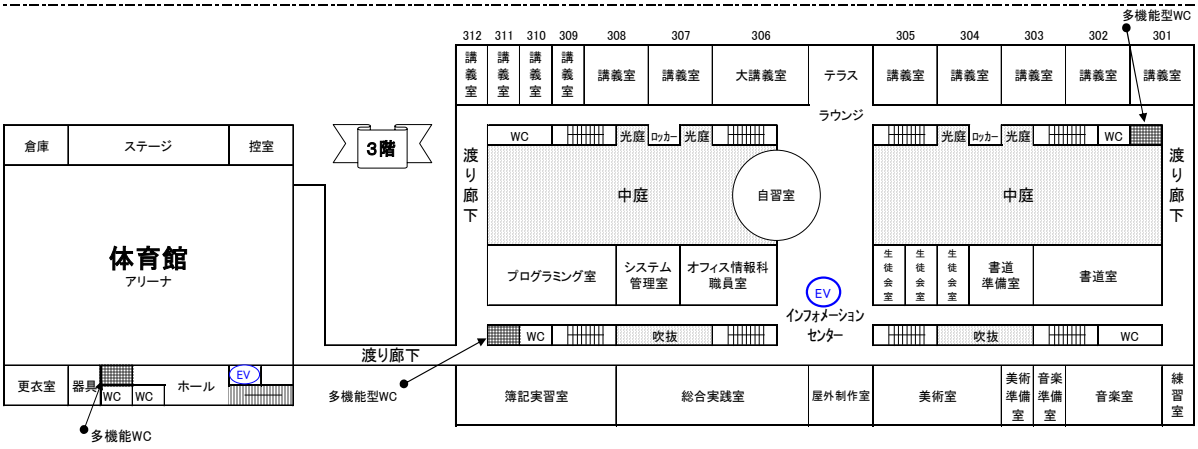
注1　駐車場は数に限りがありますので，できるだけ，徒歩・自転車又は公共の交通機関を利用してください。また，学校周辺の路上(特に正門前)や近隣の店舗等の駐車場には絶対に駐車しないでください。

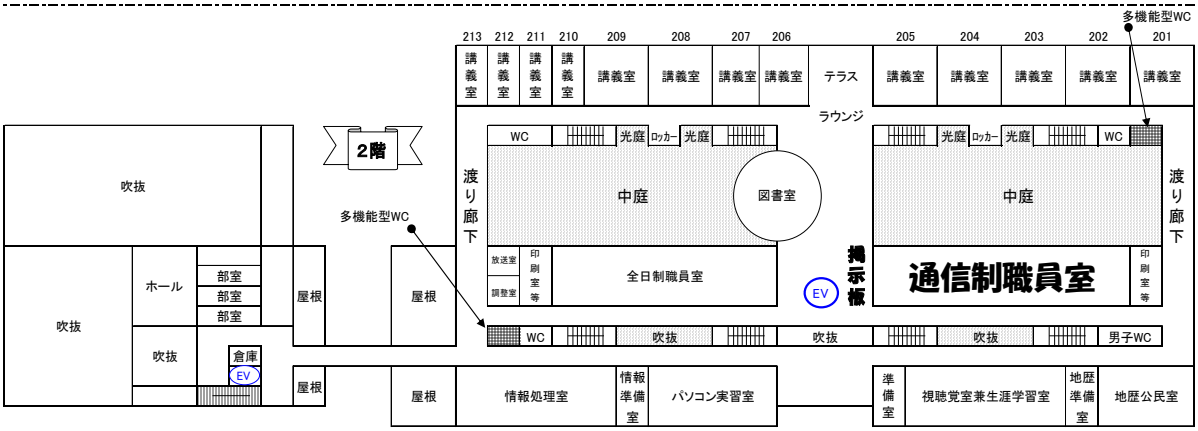
注2　自家用車で送迎してもらう時も，学校周辺の路上や近隣の店舗の駐車場ではなく，必ず本校の駐車場で乗り降りしてください。

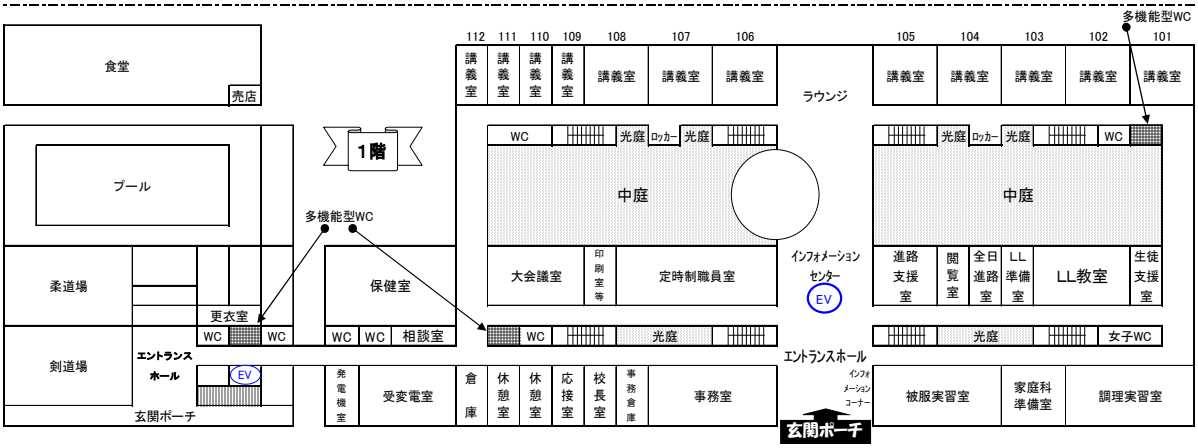
注3　車椅子等を使用の方は，玄関前に駐車スペースがありますので，事前に申し出てください。（申請が必要です。）

校舎配置図


屋根
ステージ上部
放送
体育教官室
アリーナ上部
ギャラリー
EV
4階
中庭
図書室上部
福祉演習室
更衣室
福祉準備室
福祉科職員室
テラス
暗室等
化学実験室
化学準備室
生物実験室
生物準備室
多機能型WC
WC
吹抜
吹 抜
介護実習室
器機器具室
福祉実習室
庭園
礼法室
地学実験室
地学準備室
物理準備室
物理実験室


312 311 310 309 308 307 306 305 304 303 302 301
講義室
大講義室
テラス
ラウンジ
倉庫
ステージ
控室
体育館
アリーナ
3階
渡り廊下
WC
光庭
ロッカー
中庭
自習室
プログラミング室
システム管理室
オフィス情報科職員室
生徒会室
書道準備室
書道室
EV
インフォメーションセンター
吹抜
更衣室
器具
ホール
多機能型WC
多機能WC
簿記実習室
総合実践室
屋外制作室
美術室
美術準備室
音楽準備室
音楽室
練習室


213 212 211 210 209 208 207 206 205 204 203 202 201
講義室
テラス
ラウンジ
吹抜
2階
多機能型WC
渡り廊下
WC
光庭
ロッカー
中庭
図書室
放送室
調整室
印刷室等
全日制職員室
掲示板
通信制職員室
EV
男子WC
ホール
部室
屋根
倉庫
情報処理室
情報準備室
パソコン実習室
準備室
視聴覚室兼生涯学習室
地歴準備室
地歴公民室


112 111 110 109 108 107 106 105 104 103 102 101
講義室
ラウンジ
食堂
売店
プール
1階
多機能型WC
WC
光庭
ロッカー
中庭
大会議室
印刷室等
定時制職員室
インフォメーションセンター
EV
進路支援室
閲覧室
全日進路室
LL準備室
LL教室
生徒支援室
柔道場
更衣室
保健室
相談室
剣道場
エントランスホール
玄関ポーチ
発電機室
受変電室
倉庫
休憩室
応接室
校長室
事務倉庫
事務室
インフォメーションコーナー
女子WC
被服実習室
家庭科準備室
調理実習室

ＨＲ番号		学籍番号	

氏　　名	